※※※

2023年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度の当財団の事業はコロナ以前の状態に戻り、計画した全ての行事、出張を実施した。その結果、全体予算の98.9%を遂行した。

1. 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

(1) 武田報彰医学研究助成は、財団の理事・評議員等から推薦された、大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究に対して、1件3,000万円10件 計3億円を贈呈した。

(2) ハイリスク新興感染症研究助成は、満55歳未満の研究者を対象に公募を行い、人類にとって脅威となりうるハイリスク新興感染症の対策に必要な基礎研究、臨床研究、疫学・社会医学的研究等の多様な研究に対して、1件 1,000万円 10件 計1億円を贈呈した。

(3) 生命科学研究助成は、満55歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究に対して、1件 1,000万円 30件 計3億円を贈呈した。

(4) 医学系研究助成は、医学系の満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円 240件 計4億8,000万円を贈呈した。［がん領域（基礎・臨床）69件、精神・神経・脳領域44件、感染領域26件、基礎66件、臨床35件］

継続助成は、本研究助成の2020年度および2021年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円 30件 計9,000万円を贈呈した。［がん領域（基礎・臨床）8件、精神・神経・脳領域8件、感染領域1件、基礎10件、臨床3件］

(5) 薬学系研究助成は、薬学系の満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1件200万円 41件 計8,200万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の 2020 年度および 2021 年度被助成者を対象に公募を行い、1 件 300 万円 6 件 計 1,800 万円を贈呈した。

(6) ライフサイエンス研究助成は、医学・歯学・薬学系を除く大学･学部や研究機関、高等専門学校に所属する満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究に対して、1 件 200 万円 43 件 計 8,600 万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の 2020 年度および 2021 年度被助成者を対象に公募を行い、1 件 300 万円 5 件 計 1,500 万円を贈呈した。

(7) 特定研究助成は､研究機関を対象に公募を行い、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む、研究機関内の複数の部署・研究室における共同研究に対して、1 件 3,200 万円～5,000 万円 12 件 計 5 億円を贈呈した。

(8) ビジョナリーリサーチ助成（スタート）は、我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する、将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究を対象に公募を行い、1 件 200 万円 31 件 計 6,200 万円を贈呈した。

継続助成（ホップ）は、2020 年度および 2021 年度（スタート）被助成者を対象に公募を行い、1 件 500 万円 10 件 計 5,000 万円を贈呈した。

継続助成（ステップ）は、2020 年度および 2021 年度（ホップ）被助成者を対象に公募を行い、1 件 1,000 万円 5 件 計 5,000 万円を贈呈した。

継続助成（ジャンプ）は、2020 年度および 2021 年度（ステップ）被助成者を対象に公募を行い、1 件 3,000 万円を贈呈した。

(9) 中学校・高等学校理科教育振興助成は､中学校・高等学校（高等専門学校を除く）およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に公募を行い､中学校および高等学校の理科教育に貢献する研究または実践に対して、1 件 30 万円 70 件 計 2,100 万円を贈呈した。（中学校 19 件、高等学校 51 件）

以上、研究助成の贈呈金総額は 21 億 8,400 万円となった。

2. 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

(1) 外国人留学者に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学･薬学などの医療分野で研究､研修する外国人留学者に対する留学助成を行った。

本年度は、7 指定国/地域より 34 名、その他の国/地域より 11 名、計 45 名に留学

助成を行った。2022年度までに開始済みの外国人留学者の継続分を含めて留学助成金として総額1億2,644万円を支給した。

なお、1964年に本事業を開始して以来、2024年3月末までに助成した外国人留学者の総数は48ヵ国/地域から1,896名となった。

本年度に留学助成を行った来日外国人留学者数は、次の通りである。

〈2024年3月31日現在〉

国/地域名	2023年度計画（人数）	2023年度承認（人数）	実績（人数）				備考
			本年度	前年度繰越	次年度繰上	計	
台湾	3	3	3	1		4	
タイ	6	6	6	1		7	
フィリピン	6	6	5			5	1名次年度繰越
韓国	3	1	0	1		1	1名次年度繰越
中国	8	6	6	2		8	
インドネシア	6	5	5			5	
ベトナム	3	3	3	1		4	
7指定国/地域小計	35	30	28	6		34	
上記7指定国/地域以外	10	10	10	1		11	
総計	45	40	38	7		45	

2023年10月10日（火）に初めての試みとして、日本に滞在する外国人留学者および元外国人留学者が集うSocial Gatheringを開催し45名が参加した。

(2) 医学部博士課程入学者に対する助成（医学部博士課程奨学助成）

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業者で国内の指定7大学（北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学）の医学（系）研究科博士課程基礎医学系への入学者(各大学2名、計14名)に対し、奨学金（年間360万円、最大4年間）の支給を行う事業を実施しているが、2023年度は北海道大学からの推薦者が1名だったため、残り1名の枠を過去5年間の推薦者が最も多かった京都大学に割り当てた。

本年度は、2020年度助成者14名、2021年度助成者14名、2022年度助成者12名、2023年度助成者14名と合わせて計54名に、総額1億9,900万円を奨学助成した。

なお、2023年5月25日（木）に2023年度医学部博士課程奨学助成認定式を開催した。

医学部博士課程奨学助成で、博士号取得者が累計で83名となり、そのうち58名が取得後も基礎研究機関に所属した。

(3) 海外研究留学者に対する助成（海外研究留学助成）

若手医師でかつ博士号保持者または博士課程在籍者を対象とした海外研究留学助成事業を行っている。本年度は、2020年度留学者8名、2021年度留学者8名、2022年度留学者10名、2023年度留学生10名と合わせて、計36名に渡航費込みで総額1億7,142万円を助成した。

また、2024 年度の海外研究留学者について公募を行い、選考の結果、10 名を決定した。2024年2月6日（火）に2024年度海外研究留学助成認定式を開催した。

海外研究留学助成の累計採択者は60名となった。

3. 我が国の医学界における優れた研究者に対する褒賞（武田医学賞）

医学界において顕著な業績を挙げた研究者として、財団の理事・評議員等から推薦された19名の候補者について、9名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、2名（下記参照）の褒賞を決定した。受賞者には、2023年11月13日（月）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状、賞牌、楯）および 副賞（1件 2,000万円）をそれぞれ贈呈した。引き続き、祝賀式を開催し58名が参加した。

上田　龍三　博士
受賞時職名：名古屋大学　特任教授
研究題目　：成人T細胞白血病・リンパ腫に対する抗体医薬開発のトランスレーショナル・リサーチ

後藤 由季子　博士
受賞時職名：東京大学　教授
研究題目　：細胞運命を制御するシグナル伝達の解明

4. 科学技術の時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催（国際シンポジウム）

本年度は下記 第11回 武田科学振興財団 薬科学シンポジウムを開催した。

テ ー マ　：“Imaging-directed development of cutting edge drugs and medical technologies”
「イメージングによる最先端医薬品・医療技術開発」

組織委員長：浦野 泰照　（東京大学　教授）
組織委員　：青木 伊知男　（量子科学技術研究開発機構 上席研究員）
深瀬 浩一　（大阪大学　教授）
講　　演　：20名（国内7名、海外13名）
ポスター発表（82件）
会　　期　：2024年1月26日（金）～27日（土）
場　　所　：コングレコンベンションセンター（大阪市北区）
参 加 者　：244名
ポスター褒賞：シンポジウムに応募したポスター発表者を対象に、選考委員会で決定し、褒賞金として 1件50万円 5件 計 250万円を贈呈した。

5. 科学技術の振興に関する出版物の発刊（本草医書発刊）
杏雨書屋機関誌『杏雨』26号を2023年9月に発刊した。
また、2024年3月に『磧砂版大蔵経目録』第十二冊を発刊した。

6. 本草医書、東洋学を中心とした図書資料の保管、整理、収集および公開（本草医書公開）
(1) 保管・管理
写真撮影104,411枚、複写製本545冊、補修63点を行った。
(2) 公開
閲覧者は234名（閲覧図書1,645部、10,455冊）、複写依頼は71名（複写部数187部、6,355枚）、展示室見学者は4,822名（特別展示会を含む）であった。
＜常設展示会＞
前年度に引き続き「流行り病を乗り越えて」をテーマとした展示に一部展示替えをして開催した。（見学者4,822名）

＜特別展示会＞
（ⅰ）春季：4月10日（月）～6月30日（金）（休館日を除く53日間）「医家の詩文・書画　その2」をテーマに開催した。（見学者：651名）
（ⅱ）秋季：10月28日（土）～12月1日（金）（休館日を除く26日間）「杏雨書屋の善本漢籍―恭仁山荘本を中心に―」をテーマに開催した。約10年振りの国宝・重文展示ということもあり、見学者は前年より約千人増加

した。（見学者：2,595 名）

⑶ 研究講演会

① 第 47 回研究講演会

日 時：2023 年 4 月 15 日（土）13：00～15：30

場 所：武田科学振興財団　5 階

演 題：「医家の奏でた音楽―村井琴山と七弦琴―」

演者：早川 太基氏　（神戸大学大学院　講師）

演 題：「医家の書の源流―正鋒と王羲之書法―」

演者：松村 茂樹氏　（大妻女子大学文学部　教授）

参加者：84 名

② 第 48 回研究講演会

日 時：2023 年 11 月 4 日（土）13：00～15：30

場 所：武田科学振興財団　5 階

演 題：「内藤湖南の中国絵画論」

演者：宇佐美 文理氏　（京都大学文学研究科　教授）

演 題：「日本にもたらされた四庫全書―内藤湖南文庫を中心に―」

演者：吾妻 重二氏　（関西大学文学部　教授）

参加者：141 名

⑷ 貴重図書資料購入

養寿院秘録　1 点

古筆切　曲直瀬道三書簡　1 点

丹渓心法大全　4 点

曲直瀬道三書状　1 点

耆宿茗話　1 点

大槻玄沢書状　1 点

福原五岳画 張仲景像　1 点

切紙　曲直瀬玄鑑奥書古写本　1 点

後藤艮山手簡と山脇東洋識語　1 点

浅田宗伯筆「水志序」　1 点

片倉玄周 （鶴陵）七絶書幅　1 点

森立之詩幅「過黄花節有残花多是人留不識小春晴暖日非常大菊晩或花」　1 点

図南先生新論　1 点

上清紫庭追労仙方論法　1点

越児実幾経験書 巻二、三　2点

神遺方発揮 巻之上　1点

痘家摘要　1点

間窓偶筆　1点

北里文太郎（柴三郎庶子）自筆資料　12点

入澤達吉まくり　1点

坂上元丈書状　1点

文政12年年始差出諸用文書控　1点

大阪市中賣薬店数望　1点

尾張名所図会 前編・後編　13点

越俎薬誌　1点

中山玄亭自筆（北辰妙見宮）御袖専　1点

中山玄亭書簡　3点

小匙　3点

（相模）和田鶴林堂文庫　231点

以　上

事業報告附属明細書

別表(1) 2023年度研究助成 贈呈対象者一覧

別表(2) 2023年度来日外国人留学者(国別人数)

別表(3) 2023年度外国人留学者明細

別表(4) 国別外国人留学者数累計

別表(5) 2023年度医学部博士課程奨学助成者明細

別表(6) 2023年度海外研究留学者明細

別表(7) 第11回生薬科学シンポジウムポスター褒賞受賞者明細

2023年度 贈呈対象者一覧

贈呈対象者は五十音順に記載しています（敬称略）
所属機関・職位は応募時のものです

武田報彰医学研究助成

氏　名	所属機関・職位	研究題目
伊藤　能永	京都大学　医生物学研究所 病因免疫学　教授	自己抗原の包括的理解による自己免疫疾患の病因解明と治療基盤構築
坂田麻実子	筑波大学　医学医療系　教授	微小環境のリモデリングを基盤とした悪性リンパ腫の発症機序の統合的解析
竹内　春樹	東京大学　大学院理学系研究科　生物科学専攻 生物化学講座　分子神経生理学研究室　教授	嗅覚に着目した認知症に対する疾患修飾療法の開発
長井　淳	理化学研究所　脳神経科学研究センター グリア-神経回路動態研究チーム　チームリーダー	全能グリア-神経カタログによる脳機能発揮/破綻の基盤解明
西澤　知宏	横浜市立大学　生命医科学研究科　教授	クライオ電子顕微鏡による膜輸送体機構の解明
平原　潔	千葉大学　大学院医学研究院 免疫発生学　教授	炎症環境下におけるCD4+ T細胞の病原性獲得機構の解明と難治性炎症疾患の制御
福原　崇介	北海道大学　大学院医学研究院 病原微生物学教室　教授	革新的リバースジェネティクス技術を用いた新たなウイルス学研究の創出
松岡　悠美	大阪大学　免疫学フロンティア研究センター 皮膚アレルギー生体防御　教授	皮膚を場とした未病期細菌叢-免疫連関解析による慢性炎症性疾患の病態解明
松田　憲之	東京医科歯科大学　難治疾患研究所 病態制御科学研究部門　機能分子病態学分野 教授	PINK1とParkinを基軸としたパーキンソン病研究の新展開
吉田　健一	国立がん研究センター研究所 がん進展研究分野　分野長	単一細胞レベルオミックス解析による正常細胞からがんへのクローン進化の研究

計10件

ハイリスク新興感染症研究

氏　名	所属機関・職位	研究題目
阿久津英憲	国立成育医療研究センター　研究所 再生医療センター　センター長	腸管免疫に着目したCOVID-19後遺症予防法の開発
池亀　聡	九州大学病院　呼吸器科　臨床助教	SARS-CoV-2新規変異株を予測同定するmutagenesis screening
加藤　大志	東京大学　大学院医学系研究科 病因・病理学専攻、微生物学　准教授	ニパウイルスの増殖機構の理解と予防制御のための基盤的研究
鴨居　功樹	東京医科歯科大学　大学院医歯学総合研究科 眼科学　講師	HTLV-1 感染症の病態解明：眼科学からのアプローチ
久場　敬司	九州大学　大学院医学研究院 薬理学分野　教授	高病原性ウイルス呼吸器感染症の時空間的な重症化・後遺症の病態解明
小谷　典弘	埼玉医科大学　医学部 医学研究センター　教授	パンデミックウイルス受容体・感染因子の迅速同定システムの開発
田鍬　修平	大阪大学　感染症総合教育研究拠点 感染症・生体防御研究部門　ウイルス制御学 特任准教授	重症熱性血小板減少症候群ウイルス(SFTSV)生活環に関連する宿主因子ネットワークの網羅的同定・解析と新規治療法への応用

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
寺　正行	東京農工大学　大学院工学研究院 生命有機化学講座　准教授	非典型核酸高次構造を標的とした抗デングウイルス薬研究
富田　耕造	東京大学　大学院　新領域創成科学研究科 RNA生物学分野　教授	tRNA分子を標的とする細菌の病原性、休眠、薬剤耐性、生存競争を制御する酵素群の機能と構造
中南　秀将	東京薬科大学　薬学部 臨床微生物学教室　教授	強毒型MRSAによる皮膚感染症の重症化に関与する皮膚マイクロバイオームと宿主因子の解明

計10件

生命科学研究助成

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
青木　一洋	自然科学研究機構　基礎生物学研究所 定量生物学研究部門　教授	生細胞イメージングと光遺伝学を駆使した細胞周期の定量的理解
明石　真	山口大学　時間学研究所時間生物学研究室　教授	哺乳類の冬眠発動を決定する分子メカニズムの解明
池ノ内順一	九州大学　大学院理学研究院 生物科学部門代謝生理学研究室　教授	タイトジャンクションの形成機構の解明
井上　大地	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター　血液・腫瘍研究部　部長	RNAレベルで歪められるがん遺伝情報の統合的解析と治療応用
落合　博	九州大学　生体防御医学研究所 附属高深度オミクスサイエンスセンター 遺伝子発現動態学分野　教授	転写活性状態を制御する高次ゲノム構造形成因子の同定
木村　航	理化学研究所　生命機能科学研究センター 心臓再生研究チーム　チームリーダー	心筋細胞ターンオーバーの分子基盤
久保　亮治	神戸大学　大学院医学研究科 内科系講座皮膚科学分野　教授	エピゲノム変異と細胞競合に着目したクローン性増殖モザイク疾患の病態解明
黒田　公美	理化学研究所　脳神経科学研究センター 親和性社会行動研究チーム　チームリーダー	父母マウスの前脳内側視索前野Calcr-Amylin分子神経シグナリングが文脈依存的に子に対する行動を制御するメカニズムの解明
桑子賢一郎	島根大学　医学部 神経・筋肉生理学　准教授	核を起点とした新たな神経活動制御システムの解明と抗脳老化戦略の開拓
笹倉　靖徳	筑波大学　生命環境系/下田臨海実験センター 教授	脊索動物ホヤの変態において、時限的な刺激応答を可能にするGABAの興奮性と抑制性シグナル伝達の協調機構の解明
佐藤　優子	東京工業大学　科学技術創成研究院 細胞制御工学研究センター　木村研究室　助教	ゼブラフィッシュ初期発生過程におけるトポロジカルドメインのde novo形成機構の解明
白川　純	群馬大学　生体調節研究所 代謝疾患医科学分野　教授	個体内での多臓器を介した膵beta細胞量調節機構の統合的理解
杉江　淳	新潟大学　脳研究所 脳病態解析分野杉江研究室　准教授	神経炎症の起点を制御する分子機構の解明
武宮　淳史	山口大学　理学部生物学科 植物細胞シグナル学研究室　准教授	青色光に応答した気孔開口の分子機構の解明
田中　達英	奈良県立医科大学　医学部 解剖学第２講座　講師	皮膚の感覚センシング機構の分子基盤の解明
得津隆太郎	京都大学　大学院理学研究科 植物分子生理学分科　特定研究員	種を越えて保存された転写因子を基軸とした概日リズム形成機構の分子基盤解明
冨川　順子	東京大学　生命科学ネットワーク 特任助教	マウス初期発生過程で構築されるゲノム高次構造とそれに関わるlncRNAの同定

氏　名	所属機関・職位	研究題目
中島　友紀	東京医科歯科大学　大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学分野　教授	エグザカインによる全身性恒常性とその破綻機構の解明
中村　友紀	京都大学　高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点、斎藤G　特定准教授	非ヒト霊長類多能性幹細胞を起点とした着床期胚発生の試験管内再構成
仲矢　道雄	九州大学　大学院薬学研究院 疾患制御学分野　准教授	筋線維芽細胞の新しい亜集団を特徴づける分泌蛋白質の機能解析とその治療応用
西川　恵三	同志社大学　大学院生命医科学研究科 細胞代謝研究室　教授	骨・骨髄の力覚連関の生体イメージング研究
野村　紀通	京都大学　大学院医学研究科 分子細胞情報学分野　准教授	B型肝炎ウイルス細胞侵入複合体の形成機序と分子構造の解明
乗本　裕明	北海道大学　大学院医学研究院生理系部門 薬理学分野　細胞薬理学教室　准教授	大脳辺縁系の過興奮に着目した認知症の機構解明
平野　愛弓	東北大学　電気通信研究所 人間情報システム研究部門 ナノ・バイオ融合分子デバイス研究室　教授	新パラダイム「膜平行電圧」の実証と細胞膜機能計測
船戸　弘正	東邦大学　医学部　解剖学講座 微細形態学分野　教授	睡眠徐波の再構成的操作
前島　一博	国立遺伝学研究所　遺伝メカニズム研究系 ゲノムダイナミクス研究室　教授	1分子ヌクレオソームイメージングで明らかにする分裂期染色体の凝縮過程
南　敬	熊本大学　生命資源研究支援センター 分子血管制御分野　教授	ダウン症 iPS 細胞及びその分化内皮細胞を用いた高次エピゲノム動態制御と抗血管病・抗生活習慣病に至る分子基盤の解明
山崎　正和	秋田大学　大学院理工学研究科生命科学専攻・ 分子遺伝学研究室　教授	平面内細胞極性を支配する上皮組織ダイナミクスの解析
山地　直樹	岡山大学　資源植物科学研究所 植物ストレス学グループ　准教授	植物のケイ素感覚の解明
山下　敦子	岡山大学　学術研究院医歯薬学域 構造生物薬学研究室　教授	甘味やうま味を感知するヒト味覚受容体の構造生物学的解析

計30件

医学系研究助成

＜がん領域（基礎）＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
伊藤　雄介	慶應義塾大学　医学部　先端医科学研究所 がん免疫研究部門　助教	自然免疫系の抗腫瘍活性を誘導する次世代CAR-T細胞療法の開発
井本ひとみ	大阪大学　大学院医学系研究科 遺伝学　特任助教	Rubicon増加による肝発がん機構の解明と新規治療戦略の確立
岩下　雄二	浜松医科大学 腫瘍病理学講座　助教	網羅的DNAアダクトミクス法を用いた、ヒトがん変異の原因となる環境変異原や代謝化合物により形成されたDNA付加体の同定と、ゲノム科学・臨床病理情報の統合による、発がんの遺伝環境相関の解明と化学予防
大平　崇人	鳥取大学　染色体工学研究センター 生命現象研究部門　助教	新しいがん研究ツールとしてのゼブラフィッシュ人工染色体の開発
小野寺康仁	北海道大学　大学院医学研究院 医理工学グローバルセンター 放射線治療部門　生物医理工学セクション　准教授	放射線とウイルスによるハイブリッドがん治療法の開発
神谷　知憲	大阪公立大学　大学院 医学研究科病態生理学　助教	T細胞遊走に着目したNASH肝がん発生機構の解明

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
北　悠希	京都大学　大学院医学研究科 泌尿器科学　助教	膀胱癌同種移植マウスモデルを用いた放射線感受性を規定する腫瘍免疫微小環境の解明とその応用
口丸　高弘	自治医科大学　分子病態治療研究センター・ 循環病態代謝学研究部　准教授	自由行動動物の代謝エネルギー動態の可視化による代謝疾患研究
黄　鵬	岡山大学　学術研究院医歯薬学域 中性子医療研究センター　研究准教授	腫瘍免疫逃避機構を標的とした次世代環状mRNAワクチンの治療戦略
小谷　仁司	島根大学　医学部免疫学講座　講師	新規癌治療薬開発を目指した核内受容体NR2F6リガンドによる癌細胞・免疫細胞機能制御解析
西條　憲	東北大学病院　腫瘍内科　講師	抗がん薬と腫瘍内細菌を標的とした抗菌薬のナノ粒子製剤による新規膵癌治療薬の開発
斎藤　優樹	国立がん研究センター 研究所分子腫瘍学分野　特任研究員	がん種横断的マルチコホート解析による遺伝子間相互作用の包括的解明
佐々木和教	順天堂大学　大学院医学研究科 老人性疾患病態・治療研究センター ムーンショット研究開発拠点　特任准教授	細胞極性から迫るがんの進展メカニズムの解明と治療応用
實吉　尚郎	宮崎大学　医学部 機能制御学講座・生命分子科学分野　准教授	がん細胞を識別する低副作用T-oligoがん治療法の開発
柴　綾	筑波大学 医学医療系診断病理学　准教授	エネルギー代謝リプログラミングに着目したRET阻害薬獲得耐性分子メカニズムの解明
清水　康平	大阪公立大学　大学院医学研究科 医化学研究室　助教	腫瘍性タンパク質のプロテオスタシス制御に立脚した発がん機構の究明
鈴木　秀文	横浜市立大学 大学院医学研究科・分子生物学　助教	転写伸長因子MED26の液滴形成によるがん遺伝子発現制御機構の解明
髙島　大輝	国立がん研究センター 先端医療開発センター・新薬開発分野 ユニット長	標的アルファ線治療の効果予測因子並びに薬効増強を目的とした抗体修飾技術の開発
谷口　寛和	長崎大学病院　呼吸器内科　助教	DNA修復機構阻害剤によるがん免疫賦活化作用の解明と新規治療戦略の開発
友信奈保子	岡山大学　学術研究院　医歯薬学域 細胞生物学　特任助教	がん進展に重要なTRPV2の新しい活性化分子機構の発見とその解明を基盤とした悪性中皮腫増生の本態理解
中井　晶子	大阪大学　免疫学フロンティア研究センター・ 免疫応答動態学研究室　助教	β_2アドレナリン受容体とケモカイン受容体のクロストークを標的としたがん治療
中島やえ子	東京大学　医科学研究所 幹細胞治療センター幹細胞分子医学分野　助教	炎症惹起性細胞死のエピジェネティック制御と骨髄異形成症候群における役割
中山　淳	国立がん研究センター　研究所 病態情報学ユニット　学振PD研究員	多発性小葉がんの空間的不均一性の解明
西村耕太郎	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター血液・腫瘍研究部 主任研究員	p53変異がん細胞内レドックスバランスの破綻を標的とする新規治療戦略
橋本　恭子	東京大学　大学院医学系研究科　免疫学 日本学術振興会特別研究員(PD)	ペリサイトによる骨転移巣免疫微小環境の制御
秦　淳也	福島県立医科大学　医学部泌尿器科学講座 学内講師	アスタチン標識Neopentyl-PSMAを用いた新たな前立腺癌アルファ線放出核種内用療法の開発
花村　徹	東海大学　医学部外科学系 乳腺・腫瘍科　講師	乳癌微小環境における宿主免疫応答制御機構の解明；AR依存性分泌蛋白ZAGの免疫細胞に対する作用メカニズムの解析
馬場　崇	和歌山県立医科大学 分子遺伝学講座　講師	腫瘍内高乳酸環境におけるマクロファージの転写制御シグナルの解明

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
早川　晃司	岡山理科大学　獣医学部　獣医学科 毒性学講座　講師	修飾ヒストン-ノックダウン(MH-KD)法による治療抵抗性がん細胞の標的治療法の確立
林　眞理	京都大学　大学院医学研究科IFOM-KU国際共同ラボ(親講座:分子生体統御学講座)　客員准教授	細胞周期依存性抗がん剤の薬理効果に資するM期テロメア脱保護の分子機構の解明
原田　武志	徳島大学　大学院医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学分野　准教授	1q増幅による腫瘍の遺伝子不安定性惹起機構と腫瘍微小環境のリモデリング機構の解明
廣瀬　遥香	名古屋大学 大学院医学系研究科システム生物学　助教	腫瘍組織中静止期細胞と微小環境との相互作用の情報学的空間オミクス解析
藤下　晃章	愛知県がんセンター　研究所 がん病態生理学分野　主任研究員	生体スクリーニングによる大腸がん転移メカニズムの解明
房　知輝	山形大学　医学部 メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター　助教	放射線照射時のアンモニア代謝動態の解析とそれを標的とした新規がん放射線療法の開発に向けた基礎的研究
本宮　綱記	金沢大学　がん進展制御研究所 分子病態研究分野　特任助教	乳癌幹細胞性を規定する遺伝子変異の同定
三浦健太郎	信州大学 医学部外科学教室呼吸器外科分野　助教	原発性肺癌におけるAxlと腫瘍微小環境の網羅的解析およびAxl阻害薬併用によるEGFR CAR-T細胞療法の効果
宮田　憲一	がん研究会 がん研究所がんエピゲノムプロジェクト 特任研究員	エピゲノム・トランスクリプトーム階層に立脚したがん細胞の多様性獲得機構の解明
武藤　朋也	千葉大学医学部附属病院 血液内科　助教	RNAメチル化から迫る骨髄異形成症候群の病態におけるパラドックスの解明
森川　真大	帝京大学 先端総合研究機構健康科学研究部門　准教授	がん幹細胞におけるBMP(骨形成因子)シグナルの分子機構解明
屋木　祐亮	京都医療科学大学　医療科学部 放射線技術学科　助教	肺がんに対するラジオセラノスティクスを実現するモレキュラーコンバーチブルプローブの開発
山下公太郎	大阪大学　大学院医学系研究科 外科学講座消化器外科学　助教	悪性腫瘍におけるTWEAK/Fn14 axisと骨格筋減少のメカニズムの解明
山下　基	理化学研究所　生命医科学研究センター 免疫転写制御研究チーム　研究員	マウス生体内一過性PD-1分解系による抗腫瘍免疫最適化の研究
山村　凌大	北海道大学　遺伝子病制御研究所 がん制御学分野　助教	腸内細菌由来成分を活用した新規膵がん治療法の創出
山本　恵介	東京大学　医学部 消化器内科　特任講師	相分離を介した転写制御機構の理解に基づく膵癌分子サブタイプ特異的治療法の開発
吉田　彩舟	東京慈恵会医科大学 生化学講座　講師	Hedgehogシグナルの新たな活性化機構に基づくがん幹細胞の制御

計45件

＜がん領域(臨床)＞

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
伊藤　悠城	横浜市立大学附属病院 泌尿器科　助教	腎がんの早期診断および治療効果判定を目的とした、新規腎がん腫瘍マーカーとしてのTFPI2(Tissue Factor Pathway Inhibitor 2)の有用性検証：単施設前向き観察研究
岩田　宏満	名古屋市立大学　医学部附属西部医療センター 陽子線治療科　准教授	肝細胞癌に対する中心集束照射法を用いた、低侵襲かつ短期間な画像誘導陽子線治療の確立
岩橋　尚幸	和歌山県立医科大学　医学部 産科婦人科学講座　助教	p53凝集体形成に着目したp53変異卵巣癌の新規治療戦略の推進

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
打浪　雄介	北海道大学　大学院医学研究院 放射線治療学教室　助教	膵臓がんの根治を目指した適応陽子線治療の確立
大瀧　容一	群馬大学医学部附属病院 総合外科学講座呼吸器外科　助教	CRISPRスクリーニングを用いた胸腺癌に対するレンバチニブとの新規併用治療法の開発
柿崎　文彦	京都大学　医学部附属病院先端医療研究開発機構・ 大腸がん新個別化治療プロジェクト　助教	患者由来大腸がん幹細胞を用いた転移機構の解明と治療法の開発
片山　彩香	群馬大学　大学院医学系研究科　病理診断学 講師	AI（人工知能）を用いた病理組織画像解析によるStage Ⅱ大腸癌の術後補助化学療法の最適化
河原　大輔	広島大学　大学院医系科学研究科 放射線腫瘍学　助教	卵巣がんにおける医用画像上の予測因子を生化学的に解明する新規AIナビゲーションシステム開発
北野詳太郎	三重大学　大学院医学系研究科 脳神経外科学　助教	リキッドバイオプシーによる悪性脳腫瘍の再発早期発見システムの開発
島田　周	東京医科歯科大学　大学院医歯学総合研究科 分子腫瘍医学分野　助教	肝がんの分子免疫サブタイプに基づいた特異的治療の開発
寺井　秀樹	慶應義塾大学　医学部呼吸器内科　専任講師	3D肺癌/正常気道上皮オルガノイドを用いた癌細胞表面に特異的に発現するバイオマーカーおよび治療標的の網羅的探索
長崎　譲慈	岡山大学　学術研究院医歯薬学域 腫瘍微小環境学分野　助教	腫瘍浸潤リンパ球の時空間的解析に基づいた長期生存因子の新規バイオマーカーおよび治療への応用
野田　佳史	岐阜大学医学部附属病院 放射線科　講師	Dual-energy CTと動脈直交断面CT画像の融合による新たな膵癌動脈浸潤評価法の確立
野橋　智美	京都大学医学部附属病院 先制医療・生活習慣病研究センター　特定助教	CD8陽性T細胞を標的としたPET分子イメージングによる免疫チェックポイント阻害薬の早期治療効果予測
速水　晋也	和歌山県立医科大学 外科学第2講座　講師	ヒストンメチル化酵素SMYD2による肝内胆管癌リンパ節転移制御機構と分子メカニズムの解明
福永　久典	北海道大学　大学院保健科学研究院 放射線生物学・腫瘍学研究室　准教授	男性の妊孕性温存を可能とするマイクロビーム放射線治療法の開発
牧瀬　尚大	千葉県がんセンター 臨床病理部　医長	ナノポアシーケンサーを用いた肉腫に対する統合病理診断―どこでも、だれでも、どんな組織型でも―
松井　亮太	順天堂大学　大学院上部消化管外科学 非常勤助教	肥満を有するがん患者に対するフォーミュラ食を用いた術前減量プログラムの安全性と有効性
松浦　陽介	がん研究会有明病院 呼吸器センター外科　副部長	血漿定量化ctDNAによる画像的「切除不能・可能」肺癌の定義付けに関する研究
山田　洋介	京都大学医学部附属病院 病理診断科　講師	Tuft 細胞性がんの臓器横断的探索
楊　知明	京都大学　大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科　助教	肝細胞癌における糖代謝と腫瘍免疫抑制機構の相互作用の分子機構解明とその制御
吉田　博徳	京都大学　大学院 医学研究科呼吸器内科学　特定病院助教	肺癌における初期生存に着目した新規治療法の開発
若林　大雅	上尾中央総合病院　外科　医員	腹腔鏡下肝亜区域切除におけるインドシアニングリーン陽性および陰性染色法に関する前向きランダム化比較試験
若松　学	名古屋大学　大学院医学系研究科 小児科学　助教	網羅的自己抗体プロファイリングによる若年性骨髄単球性白血病の自然寛解機序と治療標的分子の探索

計24件

＜精神・神経・脳領域＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
浅岡　希美	京都大学　大学院医学研究科 システム神経薬理学分野　助教	強迫性の発現を左右する神経メカニズムの解明
伊藤　政之	慶應義塾大学 医学部生理学（神経生理）教室　特任助教	デルタ型グルタミン酸受容体GluD2のヒト型ラーチャー変異における分子・細胞病態の解明とその治療戦略の探索
伊藤　益美	香川大学　医学部　総合生命科学講座 常勤技術職員（任期なし）	パーキンソン病病態におけるミクログリアの加齢性変化
糸数　隆秀	大阪大学　大学院医学系研究科 創薬神経科学・分子神経科学　特任准教授	二次性認知症の共通病態を標的とした新しい認知機能改善療法の創出
岩田　卓	筑波大学　医学医療系　生命医科学域 解剖学・神経科学研究室　助教	モータータンパク質の局所受容体分布調節による包括的多シナプス機能制御システムの解明
上村麻衣子	京都大学　大学院医学研究科 脳病態生理学講座臨床神経学　特定研究員	微小脳血管障害及び慢性脳低灌流が及ぼす、タウ凝集体形成伝播メカニズムの解明
江崎　悠一	藤田医科大学　医学部 精神神経科学講座　客員講師	光曝露環境が統合失調症の生体リズムと精神・身体症状に及ぼす影響の解明
遠藤　良	理化学研究所　脳神経科学研究センター タンパク質構造疾患研究チーム　研究員	神経細胞における翻訳制御の破綻と神経疾患
小野　和也	大阪大学　大学院医学系研究科 統合薬理学　特任助教	難聴の克服を志向した内耳感覚細胞の発生・再生制御因子の同定
加藤　泰介	新潟大学　脳研究所 分子神経疾患資源解析学分野　准教授	加齢に伴うT細胞浸潤とインターフェロンγプライミングによる脳小血管病発症機構の検証
金子　美穂	長崎大学　大学院　医歯薬学総合研究科 感染分子解析学分野　助教	プリオン感染神経細胞との共培養系の構築によるミクログリアの機能解析
河合　洋幸	大阪公立大学　大学院医学研究科 脳神経機能形態学　助教	背側/正中縫線核が投射する前障ニューロンの情動制御機構
桑原　知樹	東京大学　大学院医学系研究科 神経病理学分野　講師	ミクログリアからの新規分泌機構に着目したαシヌクレインシード拡散機構の解明
近藤　豪	北海道大学　大学院医学研究院 生理系部門生化学分野医化学教室　助教	精神疾患における脳内脂質異常の意義
齊藤　聡	国立循環器病研究センター　脳神経内科　医師	Genetic modifierの同定を目指した遺伝性脳小血管病CADASILのgenome-wide association study
坂井　謙斗	山梨大学　山梨GLIAセンター　特任助教	ミクログリア由来のマイクロベシクルによる接触性皮膚炎に対する制御機構の解析
笹澤有紀子	順天堂大学 大学院医学研究科神経学講座　准教授	生体内代謝物の網羅的生理活性評価から挑むパーキンソン病分子病態解明
塩谷　和基	立命館大学　生命科学部 生命情報学科　脳回路情報学研究室　助教	高次領域から行動につながる入力を受ける感覚情報処理
實木　亨	三重大学　医学部生化学　准教授	光依存的シナプス分子操作技術による記憶維持機構の解明
瀬戸川　将	大阪公立大学　大学院医学研究科 神経生理学　特任助教	パーキンソン病による手続き学習障害の高時空間スケール解析による病態解明
高瀬　創	横浜市立大学　附属病院 次世代臨床研究センター・脳神経外科　助教	慢性硬膜下血腫：革新的分子病態概念の確立と非侵襲的治療法開発
宝田　美佳	金沢大学　医薬保健研究域医学系 神経解剖学講座　助教	非神経細胞のプロテオスタシスに着目した急性脳障害の病態解明と新規治療標的の創出

氏　名	所属機関・職位	研究題目
玉川(中川)直	鹿児島大学　大学院医歯学総合研究科 神経筋生理学分野　助教	人為的な樹状突起化誘導を用いた神経回路再編法の開発
玉田　紘太	神戸大学　大学院医学研究科 生理学・細胞生物学講座・生理学分野　助教	自閉症における樹状突起スパイン異常メカニズムの解明
茶屋　太郎	大阪大学 蛋白質研究所分子発生学研究室　准教授	繊毛内タンパク質輸送制御に着目した網膜色素変性症の分子病態メカニズムの解明と治療法開発の基盤構築
中條　岳志	熊本大学 大学院生命科学研究部(医)分子生理学講座　講師	tRNAのメチル化修飾の欠失が知的障害を引き起こす分子メカニズムの解明
藤内　玄規	愛知医科大学 ALS治療研究開発部門　助教	患者iPS細胞由来運動ニューロンを用いた筋萎縮性側索硬化症の病態解明と治療薬候補の検証
利重　裕子	名古屋市立大学 大学院医学研究科　精神・認知・行動医学　助教	遺族のうつ病に対する「日本文化に適合したオンライン対人関係療法」の実施可能性検証試験
外村　宗達	川崎医科大学 医学部　解剖学　助教	嗅覚神経回路の機能形態学的変化が嗅覚障害を引き起こすメカニズムの解明―イオンチャネルを標的とした治療薬の探索
長沼　史登	東北医科薬科大学 医学部薬理学教室　助教	視床下部外側ニューロテンシン神経が繋ぐ睡眠覚醒を司る新たな神経回路の同定
中村　治子	横浜市立大学　医学部医学科 脳神経内科・脳卒中医学教室　助教	iPS神経細胞を用いた非翻訳領域リピート病の病態解明および治療法開発
新田　陽平	新潟大学　脳研究所脳病態解析分野 杉江研究室　特任助教	ショウジョウバエモデルを用いた脳-腸間におけるαシヌクレイン伝播機構の解明
長谷川　拓	理化学研究所　脳神経科学研究センター 思考・実行機能研究チーム　研究員	不確実な環境下で経験に基づく探索行動を支える神経基盤
濱谷　美緒	京都大学　高等研究院ヒト生物学高等研究拠点 Uenoグループ(免疫)　特定助教	ミクログリアの細胞内代謝障害から遺伝性白質脳症を解く
藤島　和人	大阪医科薬科大学　医学部 生命科学講座　解剖学教室　助教	神経突起の成長と保護のバランスを整える膜骨格リモデリング
藤田　幸	島根大学　医学部医学科 発生生物学　教授	ゲノム高次構造変化を介した神経回路精密化のメカニズム解明
宮本　亮介	徳島大学病院 脳神経内科　特任講師	ドパミンD1レセプターに着目したジストニア治療ターゲットの創出
森　康治	大阪大学　大学院医学系研究科 精神医学　講師	C9orf72変異型前頭側頭葉変性症において異常RNA蓄積が神経変性を惹起する機序の解明
矢吹　悌	熊本大学　発生医学研究所 ゲノム神経学分野　助教	ストレス脆弱性を規定する分子基盤の解明
山口　健治	京都大学　医学研究科 高次脳科学講座脳統合イメージング分野 特定助教	新規抗うつ薬による報酬学習向上効果のメカニズムについて脳画像計測と最新光プローブ技術を組み合わせて解明する
吉岡　望	新潟大学　大学院医歯学総合研究科 脳機能形態学分野　助教	遺伝性ニューロパチーにおける感覚神経変性に関わるシグナル伝達経路の解明
吉田　匡秀	自治医科大学 医学部生理学講座神経脳生理学部門　助教	レジリエンスを担う末梢-脳内回路刺激によるストレス関連精神障害の治療法開発：プロラクチン放出ペプチドの働き
渡邊　征爾	名古屋大学　環境医学研究所 病態神経科学分野　助教	神経変性疾患における小胞体・ミトコンドリア接触領域の疾患特異的異常化機序の解明
渡邊　将	岐阜大学　大学院医学系研究科 高次神経形態学分野　助教	ストレス性体温低下を誘導する脳領域の探索

計44件

＜感染領域＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
相原　正宗	九州大学病院　医療技術部・検査部門 臨床検査技師	多剤高度耐性細菌の新たな治療戦略構築に資する研究
赤堀ゆきこ	東京大学　大学院医学系研究科 微生物学教室　助教	慢性ストレスを背景とする炎症病態と呼吸器感染応答の理解
朝倉　崇徳	北里大学　薬学部臨床医学(生体制御学)(研究所病院呼吸器内科医兼務)　講師	肺非結核性抗酸菌症の末梢気道を中心した分子基盤解明
芦田　浩	東京医科歯科大学　大学院医歯学総合研究科 細菌感染制御学分野　准教授	腸管出血性大腸菌を標的とした新規治療薬候補の作用機序解明
伊東　祐美	大阪大学　微生物病研究所 高等共創研究院　岡本研究室　特任助教	エネルギー代謝制御を介したフラビウイルスの増殖機構の解明
猪原　史成	大阪大学　微生物病研究所 感染病態分野　助教	集団ゲノミクスとゲノムワイド関連解析の統合的手法による日本のトキソプラズマ集団が獲得した病原性因子の同定
植木　紘史	東京大学 医科学研究所・ウイルス感染部門　特任研究員	２光子生体イメージングで解明するCOVID-19肺炎の病態メカニズム
小川　寛人	岡山大学　学術研究院 医歯薬学域　病原ウイルス学分野　助教	コウモリがゲノムに獲得した内在性ウイルス様配列がマールブルグウイルスの生態にもたらす役割の解明
川﨑　拓実	長崎大学　高度感染症研究センター ウイルス免疫動態研究分野　准教授	肺胞マクロファージを利用したウイルス感染防御
木村　鮎子	群馬パース大学　大学院 保健科学研究科　医療科学領域　生体分子　講師	多剤耐性緑膿菌感染症の新規診断・治療法の開発を目指したプロテオーム解析
Nguyen MinhHuong	自治医科大学　医学部 感染・免疫学講座　細菌学部門　ポスドク	黄色ブドウ球菌特異的な新規抗菌治療剤の開発
久保田寛顕	東京都健康安全研究センター 微生物部　主任研究員	自己接合性を欠いたカルバペネム耐性プラスミドにおける伝達メカニズムの解明
幸脇　貴久	熊本大学　大学院生命科学研究部 免疫学講座　助教	代謝異常と抗ウイルス自然免疫とが結びつく新たなメカニズムの解明
佐藤　憲明	東京大学　医科学研究所 ヒトゲノム解析センター 健康医療インテリジェンス分野　助教	シングルセルネットワーク解析によるBKポリオーマウイルス感染症の分子機序解明
杉本　温子	藤田医科大学　医学部 ウイルス・寄生虫学講座　学振特別研究員	EBVの生活環に関わる核小体肥大化の意義
髙橋　梓	千葉大学　真菌医学研究センター 病原機能分野　技術職員	病原性酵母による「トロイの木馬」腸管突破機構の解明
中村　碧	国立感染症研究所 エイズ研究センター　主任研究官	宿主免疫因子がHTLV-1感染動態制御に果たす役割の解明
西田　優也	国立循環器病研究センター　研究所 分子薬理部　上級研究員	特異的抗菌薬に結びつく進化的に隠された活性調節機構
萩原　真生	愛知医科大学　医学部 分子疫学・疾病制御学寄附講座　准教授	宿主のウイルス性呼吸器感染症に対する抵抗性の向上を目的とした腸内細菌叢が産生する中鎖または長鎖脂肪酸の探索とその作用機序の解明
伴戸　寛徳	旭川医科大学　医学部 寄生虫学講座　准教授	難治性寄生虫症を引き起こすトキソプラズマの脳内潜伏感染機構の解明
飛彈野真也	国立国際医療研究センター 研究所　肝炎・免疫研究センター 免疫制御研究部　上級研究員	アニサキス感染による好酸球の胃での免疫応答ならびに痛み・アレルギーを誘発する因子の探索

氏　名	所属機関・職位	研究題目
広瀬雄二郎	大阪大学　大学院歯学研究科 口腔細菌学教室　助教	化膿レンサ球菌感染症における臓器障害の発症メカニズムの解明
松田　幸樹	国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター リサーチレジデント	HIV感染症の機能的治癒を目指した新規治療法の確立
丸鶴　雄平	東京大学　医科学研究所 ウイルス病態制御分野　助教	単純ヘルペスウイルスによる免疫回避戦略の理解
宮腰　昌利	筑波大学　医学医療系 生命医科学域　感染生物学部門 微生物叢生態学（メタボロゲノミクス分野）　准教授	RNAによる腸内細菌叢制御
山田　全毅	国立成育医療研究センター　病院 高度感染症診断部　医長	小児臓器移植レシピエントにおけるワクチン応答の規定因子に関する研究

計26件

＜基　礎＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
石渡　遼	防衛医科大学校 生理学講座　助教	出生後好中球サージの機序と機能の解明
市居　修	北海道大学　大学院獣医学研究院 解剖学教室　准教授	尿路上皮バリアと局所免疫応答を担う17型コラーゲンの異所性誘導機構
伊藤　淳平	国立循環器病研究センター　研究所 心不全病態制御部　室長	フェリチノファジーによる心臓鉄代謝恒常性維持機構の解明
井上　実紀	久留米大学　医学部　解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門　助教	性ホルモン産生細胞において性が固定される仕組みの解明
Wiriyasermkul Pattama	東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座　特任助教	アミノ酸トランスポーターの構造情報を基盤とした遺伝性疾患シスチン尿症薬物治療のための病態解明
上原　康昭	札幌医科大学 医化学講座（呼吸器アレルギー内科学講座兼任） 助教	サルコイドーシスにおける破骨細胞様多核巨細胞の機能解析及び病態の解明
内村　智也	京都大学　iPS細胞研究所 臨床応用研究部門、櫻井研究室　特定助教	AAVを用いたデュシェンヌ型筋ジストロフィー及びベッカー型筋ジストロフィー発症予防を目的とした、新規遺伝子治療法の創出
梅本　晃正	熊本大学　国際先端医学研究機構 幹細胞ストレス学講座　特任准教授	グルタミノリシス制御による造血幹細胞の自己複製分裂
大野　聡	東京医科歯科大学　M&Dデータ科学センター AIシステム医科学分野　講師	肥満に伴う代謝制御システム異常の解明に向けたマルチオミクス統合AIの開発
大庭　賢二	自治医科大学　分子病態治療研究センター 遺伝子治療研究部　講師	分子特異的DNAアプタマーで細胞特異性を付与した次世代アデノ随伴ウイルス（AAV）ベクターの作製基盤の創生
大谷木正貴	慶應義塾大学　医学部 微生物学免疫学教室　特任助教	脳アミロイド病理の早期段階におけるCD8陽性T細胞の病理学的機能の解明
垣花　太一	新潟大学　大学院医歯学総合研究科 ウイルス学分野　助教	筋萎縮性側索硬化症において神経細胞死を抑制する分子機構
笠松　純	鹿児島大学　大学院医歯学総合研究科 感染防御学講座　免疫学分野　講師	食物アレルギーにおける新規腸管好酸球サブセットの機能解明とその応用
金尾　梨絵	名古屋大学 環境医学研究所ゲノム動態制御分野　助教	E3ユビキチンリガーゼRFWD3が担うDNA損傷トレランス経路の解析
唐澤　直義	自治医科大学　分子病態治療研究センター 炎症・免疫研究部　講師	ステロール生合成経路によるフェロトーシス制御機構の解明

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
木村　健一	筑波大学　生存ダイナミクス研究センター 循環ダイナミクス　助教	変形性関節症における軟骨変性メカニズムの解明
國村　和史	九州大学　生体防御医学研究所 個体機能制御学部門　免疫遺伝学分野　助教	IL-31産生阻害薬の開発に向けたEPAS1-SP1複合体の立体構造解明とリード化合物の創出
小池　拓矢	大阪大学　感染症総合教育研究拠点 生体応答学チーム 日本学術振興会特別研究員-PD	抗体産生細胞の長寿命化に必要な因子の探索
候　聡志	東京大学医学部附属病院 循環器内科　特任助教	シングルセルマルチオミクス及び細胞形態評価の統合解析に基づく難治性肥大型心筋症病態解明
古賀　諭	大阪大学　医学系研究科 感染症・免疫学講座　生体防御学教室　助教	味覚-免疫系ネットワークにおける2型自然リンパ球の役割
小嶋　泰弘	東京医科歯科大学 難治疾患研究所計算システム生物学分野 プロジェクト講師	深層生成モデルによる細胞内オミクス動態の解明
小林　久人	奈良県立医科大学　医学部 発生・再生医学講座　准教授	LTRレトロトランスポゾン介在型転写物の種間比較による種特異的インプリント遺伝子成立の起源の探索
小藤　智史	東京医科歯科大学　難治疾患研究所 発生再生生物学分野　講師	加齢依存的な神経機能低下を原因とする肝再生不全の分子機構の解明
齋藤　明	福島県立医科大学　医学部 医学科　基礎病理学講座　助教	タイトジャンクションの裏打ち分子による上皮バリア制御法の解明
佐伯　法学	愛媛大学　学術支援センター医科学研究支援部門 特任講師	関節リウマチの病態性差におけるマクロファージの働き：エストロゲンシグナルと細胞内代謝
酒井　了平	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所　疾病研究第四部　リサーチフェロー	オートファジー系新規脂質分解システム制御因子の網羅的探索とその機能解明
榊原　伊織	愛知医科大学 医学部・生理学講座　講師	運動によるエピゲノム制御機構の解明
坂巻　純一	東京大学　大学院医学系研究科 分子生物学講座　分子生物学分野 水島研究室　特任助教	ウイルス感染に応答した膜脂質のユビキチン化の分子基盤および意義の解明
貞廣威太郎	筑波大学　医学医療系 循環器内科　講師	トランスクリプトーム統合解析による難治性心不全の病態機構解明と、革新的治療法の開発
佐藤　薫	東京都健康長寿医療センター システム加齢医学　研究員	アルツハイマー病発症に関わる女性ホルモンエストロゲン受容体（ER）および関連受容体（ERR）による遺伝子転写・RNA代謝制御機構の包括的解明
佐藤　弘泰	東京大学　大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 健康環境医工学部門　助教	細胞間連携を担う細胞外リン脂質代謝酵素による代謝制御の新機軸
白石　友一	国立がん研究センター　研究所 ゲノム解析基盤開発分野　分野長	臓器横断的公共データを用いた病的スプライスサイト生成変異の探索基盤の構築
杉山　彰	新潟大学　大学院医歯学総合研究科 薬理学分野　助教	ABCトランスポーターを介したリンパ管制御機構に関わる脂質群の探索
相馬　祥吾	京都府立医科大学　大学院医学研究科 細胞生理学　助教	食行動を決定する柔軟な味覚適応回路の解明
曽野部　崇	日本医科大学　医学部 生理学（生体統御学）　講師	微小血管障害における内皮由来ACh産生系の役割解明とその応用
高野　晴子	日本医科大学　先端医学研究所 病態解析学部門　講師	内皮細胞による肺胞形成機構の解明と再生医療への応用
田中　洋介	熊本大学　国際先端医学研究機構 幹細胞制御研究室　特任講師	カルシウムからみた造血幹細胞・白血病幹細胞のストレス応答機構の解明

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
谷　春菜	東北大学　加齢医学研究所 モドミクス医学分野 日本学術振興会特別研究員PD	ミトコンドリア疾患モデルの樹立による病態形成機構の解明
道家　智仁	名古屋大学　医学部医学系研究科 腎臓内科　特任助教	分岐鎖アミノ酸代謝異常が糖尿病性腎臓病に与える影響の解明
德弘　圭造	関西医科大学　附属生命医学研究所 ゲノム編集部門　学長特命准教授	哺乳類における多精子受精阻害機構関連因子の機能解析
西　清人	滋賀医科大学 薬理学講座　助教	新規栄養感知・エネルギー代謝制御機構の解明と治療応用への展開
橋本　寿之	慶應義塾大学　医学部 心臓病未来治療学共同研究講座　特任講師	心筋細胞選択的なDNA損傷応答経路を標的とした心不全治療法開発
畑野　晋也	九州大学　生体防御医学研究所 分子機能制御学部門　免疫ゲノム生物学分野　助教	新規加齢性B細胞による液性免疫老化の誘導機序
濱田　理人	筑波大学　医学医療系 解剖学発生学研究室　准教授	マクロファージと自律神経の相互作用による肥満抑制メカニズムの解明
樋口　牧郎	滋賀医科大学　医学部医学科 生命科学講座生物学　助教	JAK阻害薬による逆説的な免疫細胞活性化と自己免疫疾患治療への影響
平井　健太	岡山大学病院 小児科　研究助教	川崎病冠動脈炎の網羅的遺伝子発現プロファイルに基づく、新規治療薬と診断バイオマーカーの開発
平川　真弓	東京理科大学　生命医科学研究所 免疫アレルギー部門　伊川研究室　助教	従来型ポリコーム群タンパクPCGF2、PCGF4の造血幹細胞の維持・分化における役割
福中　彩子	群馬大学　生体調節研究所　病態制御部門 分子糖代謝制御分野　助教	ヒト型糖尿病モデルマウスの膵島におけるアルミニウム蓄積の意義解明
細川健太郎	九州大学　大学院　医学研究院 幹細胞再生修復医学分野　講師	内因性カンナビノイドシステムを介した造血幹細胞制御機構の解明
前田　創	福島県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター　助教	細胞老化とマイクロRNAに着目した新生児慢性肺疾患の病態解明
松岡　由和	関西医科大学　医学部 iPS・幹細胞再生医学講座　助教	周期的温度変化によるヒト造血幹細胞の体外増幅法の確立
松本あゆみ	大阪大学 大学院医学系研究科腎臓内科学　医員	細胞間コミュニケーションが作り出すニッチの解析に基づいた腎尿細管間質線維化治療法の開発
三阪　智史	福島県立医科大学 循環器内科学講座　助教	心臓と臓器連関をつなぐ細胞外小胞の分子基盤と治療応用
宮崎　充功	広島大学 医系科学研究科生理機能情報科学　准教授	冬眠動物の“使わなくても衰えない筋肉”によるサルコペニア克服戦略
宮地　康高	九州大学病院 内分泌代謝・糖尿病内科　助教	プリン合成経路に着目した持久力向上の分子機序とサルコペニア予防法の確立
武藤　真長	滋賀医科大学 動物生命科学研究センター 幹細胞・ヒト疾患モデル研究分野　特任助教	非ヒト霊長類における胎盤発生メカニズムの解明
村上　智彦	大阪大学 歯学研究科生化学教室　講師	小胞体ストレスと慢性炎症の連関から迫るシェーグレン症候群の発症機序の解明
茂谷小百合	京都大学　高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点　斎藤研究室 特定研究員	破骨細胞分化における細胞融合機構の解明
望月　信弥	自治医科大学 解剖学講座解剖学部門　助教	膜小器官接触部位における非小胞性脂質輸送機構とその生物学的意義の解明

氏　名	所属機関・職位	研究題目
築取いずみ	京都大学 大学院医学研究科・細胞機能制御学講座　特定助教	鉄代謝恒常性の破綻が引き起こす老化促進・伝播への寄与機構の解明
矢部　力朗	日本医科大学　先端医学研究所 細胞生物学部門　講師	腫瘍免疫応答におけるC反応蛋白の役割の解明
由良　義充	名古屋大学医学部附属病院 循環器内科　病院助教	DNA損傷応答遺伝子クローン性造血が心臓血管病に与える影響の解明
横田明日美	東京薬科大学　生命科学部 生命医科学科　幹細胞制御学　助教	受容体型チロシンキナーゼCD135陽性新規単球による代謝-免疫連関の解明
吉永　正憲	京都大学　大学院医学研究科 分子生体統御学講座　医化学分野　助教	RNA修飾を介した炎症制御機構の解明
吉本　由紀	東京医科歯科大学　医歯学総合研究科 分子発生・口腔組織学分野　講師	損傷と老化において固有の炎症細胞が関与する腱・靭帯の異所性骨化発症のメカニズムの解明
依田真由子	東北大学　加齢医学研究所 生体情報解析分野　助教	S-アデノシルメチオニンの恒常性制御を介した脂質代謝の新しいメカニズム

計66件

＜臨　床＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
青木修一郎	東京大学医学部附属病院 眼科　助教	有限要素法に基づく全眼球数理モデルを用いた、緑内障眼の生体力学特性の検討
石川桂二郎	九州大学　大学院　医学研究院 眼科　助教	Solid-in-Oil製剤技術を用いた増殖性硝子体網膜症治療薬開発
今川　和生	筑波大学 医学医療系小児科　講師	小児期発症の原因不明胆汁うっ滞性疾患における新規疾患遺伝子の探索と分子病態の解明
江本　拓央	神戸大学　大学院医学研究科 循環器内科学分野　医学研究員	心房細動を誘発する左房繊維化を制御する免疫治療法の開発
勝又　信哉	静岡県立静岡がんセンター 呼吸器外科　副医長	周術期医療DTxの実装化に向けた革新的IoT連携遠隔術後管理の基盤構築
勝山　隆行	岡山大学　学術研究院 医歯薬学域　腎・免疫・内分泌代謝内科学　助教	全身性エリテマトーデスの病態におけるT細胞でのWnt-βカテニン経路制御機構の解明
加藤　賢	千葉大学医学部附属病院 循環器内科　診療講師	一次性たこつぼ症候群における遺伝的素因の探索
加藤　久詞	国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター内分泌代謝高血圧研究部 流動研究員	糖尿病･肥満症におけるTREM2に着目した認知症早期予知血液バイオマーカーと効果的予防戦略の構築
亀倉　隆太	札幌医科大学　医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座　講師	臨床検体ライブラリーを用いたヒト免疫老化のメカニズムの解明
川口雄之亮	千葉大学　大学院医学研究院 小児外科学　特任研究員	Long-read sequenceによるヒルシュスプルング病の包括的遺伝子診断体制の構築
木下　真直	山梨大学 医学部皮膚科学講座　助教	好中球関連皮膚疾患における疾患横断的トランスクリプトーム解析と病態解明
京極　自彦	東北大学病院 呼吸器内科　助教	レドックス不均衡・制御性T細胞機能からみた既喫煙喘息の難治化病態の解明
佐伯　吉弘	広島大学病院　防府消化器病センター 寄附講座助教	腹腔内脂肪Natural killer細胞をターゲットとした肥満症に対するテーラーメイド治療の開発
佐々木　元	自治医科大学　大学院医学研究科 腎臓外科学講座　講師	ドナー腎組織内のCMV潜伏様式が腎移植後CMV初感染に与える影響の解明

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
瀬尾　昌裕	大阪急性期・総合医療センター 心臓内科　診療主任	急性心不全の予後調査 -多面的な指標からの検討-
髙橋　邦彰	近畿大学病院 循環器内科　助教	ST上昇型心筋梗塞に対する薬剤溶出ステント留置後の血小板機能測定に基づく抗血小板療法の至適化
田中　　真	岡山大学病院 臓器移植医療センター　助教	心臓死ドナーからの心・肺移植を企図したThoracic Normothermic Systemic Perfusionによる新たな摘出前臓器保護法の開発
東條健太郎	横浜市立大学　医学部 麻酔科学　講師	マルチオミックス病態解析による高侵襲手術後PIICSの予防的治療標的同定
中島麻由佳	新潟大学　医歯学総合研究科 歯周診断・再建学分野　助教	Metal-Phenolic Network（MPN）細菌操作による口腔マイクロバイオーム創薬研究
永山　泰教	熊本大学　生命科学研究部 放射線診断学講座　助教	Multi-energy CTを用いた副腎腫瘍の非侵襲的な診断手法の確立
難波　多挙	国立病院機構　京都医療センター 内分泌・代謝内科　医師	アンドロゲン産生異常を伴う副腎性クッシング症候群の包括的解析
畑　　匡侑	京都大学 医学部附属病院眼科　特定講師	自然免疫記憶を利用した神経炎症と血管新生の制御
服部　　淳	国立成育医療研究センター　研究所 分子内分泌研究部　研究員	ヒト胎児精巣のエピゲノム解析を用いた性分化疾患の遺伝学的病因解明
平井　利典	三重大学医学部附属病院 薬剤部　講師	日本人を対象にワルファリン抗凝固能を予測する腎機能を実装した母集団薬効解析モデルの開発と臨床応用
福田　一起	熊本大学　大学院生命科学研究部 代謝内科学講座/健康長寿代謝制御研究センター 特任助教	特定健診受診者を対象としたサルコペニア・フレイル予防研究、および第4期特定健診・特定保健指導に応用した健康寿命延伸への取り組み
堀部　昌靖	慶應義塾大学　医学部 内科学教室（消化器）　助教	上部消化管出血に対する 緊急内視鏡治療戦略の最適化を目指した全国規模ランダム化比較試験
本郷　博貴	東京大学 医学部脳神経外科　助教	生体内ゲノム編集による脳海綿状血管奇形治療
前田　康晴	昭和大学横浜市北部病院 消化器センター　講師	人工知能を用いた潰瘍性大腸炎関連腫瘍の新規診断法の開発
光山　裕美	大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター　医員	敗血症病態における病原性単球の分子病態解明と新規重症化関連バイオマーカーの探索
目黒　和行	千葉大学医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科　特任助教	重症SLE患者の全エクソーム解析により同定された新規TLR7機能獲得変異の解析を通した、新たな自己免疫疾患制御法開発の基盤構築
森　雄太郎	東京医科歯科大学　大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻器官システム制御学講座腎臓内科学分野 テニュアトラック助教	尿細管上皮細胞をターゲットとした新規の糖尿病性腎臓病治療薬の開発
山口　亮介	九州大学　大学院医学研究院 整形外科　助教	ペルテス病大腿骨頭の壊死骨修復過程における骨端軟骨の役割の検討
山本　篤志	東京女子医科大学　画像診断学・核医学 循環器内科学分野　兼務　助教	PETと人工知能による心筋再生医療に特化したRadiomics構築
渡邉　美佳	北海道大学病院 皮膚科　助教	ヒト皮膚創傷治癒を制御するエピジェネティクス因子の探索
渡邉　陽介	山梨大学　大学院総合研究部医学域内科学講座 循環器内科学教室　助教	心機能の保たれた心不全において心臓線維芽細胞の老化が与える影響の解明

計35件

医学系研究継続助成

＜がん領域（基礎）＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
北嶋　俊輔	がん研究会　がん研究所 細胞生物部　研究員	KRAS/LKB1変異型肺がんが示す免疫チェックポイント阻害薬治療耐性の克服
林　康貴	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター　血液・腫瘍研究部 特任研究員	造血不全の原因となる間葉系幹細胞亜集団の解析
藤原　英晃	岡山大学病院　血液・腫瘍内科 研究准教授	低酸素誘導因子による腸管低酸素環境の維持及び組織寛容性導入に着目した移植片対宿主病の新規予防・治療法の開発
堀江　真史	金沢大学　医薬保健研究域医学系 分子細胞病理学　准教授	臓器横断的マルチオミックス解析による神経内分泌腫瘍におけるエピゲノムと転写制御の全容解明
山田　幸司	東京慈恵会医科大学 医学部生化学講座　講師	肝がんにおける型破り分泌の分子機構の解明

計5件

＜がん領域（臨床）＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
高橋　秀和	大阪大学　大学院医学系研究科 消化器外科学講座II　特任講師	大腸癌治療に資する分解害剤開発を基軸とした新たな p53 活性化機構の解明
塚本　善之	大分大学 医学部分子病理学講座　助教	患者由来癌オルガノイドを用いた食道癌化学療法耐性化メカニズムの解明
丸　喜明	千葉県がんセンター 研究所・発がん制御研究部　研究員	子宮頸部腺癌に対する患者由来オルガノイドを用いた治療戦略の構築

計3件

＜精神・神経・脳領域＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
稲生　大輔	大阪大学　大学院医学系研究科 薬理学講座　統合薬理学　特任講師（常勤）	多様な神経伝達物質のリアルタイム計測を実現する蛍光センサーカタログの開発
倉重　毅志	国立病院機構呉医療センター 臨床研究部　脳神経内科医師	末梢神経軸索をターゲットとするALSの新規治療法開発
高柳　友紀	自治医科大学　医学部 生理学講座　神経脳生理学部門　講師	幼少期社会的親和行動によるレジリエンス強化の神経基盤解明
鳥海　和也	東京都医学総合研究所　精神行動医学研究分野 統合失調症プロジェクト　主任研究員	新規ペントシジン産生経路を基盤とした統合失調症糖化病態の理解
夏堀　晃世	東京都医学総合研究所　精神行動医学研究分野 睡眠プロジェクト　主席研究員	セロトニン神経のエネルギー代謝調節機能の解明
長谷川孝一	島根大学　医学部 神経・筋肉生理学　講師	神経突起の機能的な空間配置を規定する分子メカニズムの解明
服部　祐季	名古屋大学 大学院医学系研究科細胞生物学分野　講師	ニューロン産生を制御するミクログリア脳内監視システムの解明
山崎　雄	広島大学　大学院医系科学研究科 脳神経内科学　講師	エフェクター分子に着目した、APOE4遺伝子多型によるアルツハイマー病発症促進メカニズムの解明

計8件

＜感染領域＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
高松　由基	長崎大学　熱帯医学研究所 ウイルス学分野　准教授	フィロウイルス形成機構の解明

計1件

＜基　礎＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
今西　貴之	理化学研究所　生命医科学研究センター 免疫シグナル研究チーム　上級研究員	T細胞の老化による炎症性疾患誘導の分子機構の解明
勝海　悟郎	順天堂大学　医学部内科学教室 循環器内科学講座　特任助教	老化細胞を標的とする免疫機能の機序解明
小林真左子	日本歯科大学　生命歯学部 口腔外科学講座　講師	マクロファージの極性を制御する炭酸カルシウムナノ粒子とInjectable platelet-rich fibrinを応用した創傷治癒を促進するフィブリンシーラントの開発
佐藤　迪夫	熊本大学 生命資源研究・支援センター　特任助教	ミトコンドリア機能制御の分子機構解明と医学応用
高杉　征樹	大阪公立大学　大学院医学研究科 病態生理学　助教	分子量の相違性に着目したヒアルロン酸の機能解明と加齢性疾患の予防への応用
築山　智之	滋賀医科大学 動物生命科学研究センター　特任准教授	非ウイルス性トランスポゾンベクターを用いたトランスジェニックサルの作出
野田　大地	熊本大学　生命資源研究・支援センター 生殖機能学分野（大学院先導機構所属）　准教授	精子－卵子の細胞膜融合におけるSOF1～3の機能解析
東邦　康智	東京大学医学部附属病院 循環器内科　助教	RNA代謝調節の解析による心不全発症メカニズムの解明と新規心不全治療の開発
藤田　諒	筑波大学　医学医療系 トランスボーダー医学研究センター 再生医学（循環器内科）　助教	骨格筋組織幹細胞が秘めた新しい可能性の探索
堀江　貴裕	京都大学医学部附属病院 循環器内科　助教	コレステロール応答性長鎖非コードRNAの機能解明

計10件

＜臨　床＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
今井　則博	名古屋大学医学部附属病院 消化器内科・光学医療診療部　病院助教	肝疾患における核内脂肪滴の病態機能解明
茂久田　翔	広島大学病院 リウマチ・膠原病科　講師	イントロン型マイクロRNA・宿主遺伝子間の協調的機能の解析とその相乗効果を利用した関節疾患に対する核酸医薬の開発
山田　勝久	北海道大学　大学院医学研究院 整形外科学教室　助教	椎間板性疼痛に対する革新的ソフトバイオマテリアルを用いたリバーストランスレーショナルアプローチ

計3件

薬学系研究助成

氏　名	所属機関・職位	研究題目
青木　重樹	千葉大学 大学院薬学研究院・生物薬剤学研究室　講師	HLAの翻訳後修飾・輸送に着目した自己免疫の理解
今西　正樹	徳島大学　大学院医歯薬学研究部 薬学域医薬品機能生化学分野　助教	低酸素環境による膵がん薬物治療抵抗性発現・悪性化機序におけるPARP活性化の役割の解明
牛丸理一郎	東京大学　大学院薬学系研究科 天然物化学教室　助教	三員環合成酵素の機能解析と物質生産への応用
江上　寛通	静岡県立大学　薬学部　薬科学科 医薬品創製化学講座　准教授	トリフルオロメチル基を含むキラル複素環化合物のライブラリー構築
遠藤　智史	岐阜薬科大学　生命薬学大講座 生化学研究室　准教授	細胞内ごみの積極的蓄積による制癌戦略の確立に向けたオートファジー特異的阻害剤の創製
大場　陽介	慶應義塾大学　薬学部 代謝生理化学講座　専任講師	膜脂質環境によるミトコンドリアプロテアーゼ活性制御機構の解明
小野口玲菜	東京大学　アイソトープ総合センター 研究開発部門　秋光研究室　特任助教	核内構造体形成を基盤としたストレス感知・応答機構の解明
可野　邦行	東京大学　大学院 薬学系研究科衛生化学教室　助教	GPCRシグナルを基盤とした迷走神経サブタイプの機能解明と制御法の開発
河下　映里	京都薬科大学 病態生化学　助教	新生児低酸素性虚血性脳症におけるneuronal replacement効果の向上を目指した細胞外環境整備に関する創薬基盤研究
川島　茂裕	東京大学 大学院薬学系研究科有機合成化学教室　准教授	エピゲノム関連疾患治療を志向した革新的化学触媒の開発
木口　倫一	和歌山県立医科大学　薬学部 生体機能解析学研究室　准教授	脊髄後角神経細胞による痛みの性差形成機構の解明
草間　和哉	東京薬科大学　薬学部 内分泌薬理学　講師	老化細胞除去薬による難治性女性生殖器疾患の治療への挑戦
今野　翔	東京薬科大学　薬学部 薬品化学教室　助教	新規ペプチド環化酵素の開拓と化学酵素ハイブリッド合成法の構築
佐藤　洋美	千葉大学　大学院薬学研究院 臨床薬理学研究室　講師	2型糖尿病および慢性心不全に共通する病態解明と治療応用の可能性
佐野　紘平	神戸薬科大学 薬品物理化学研究室　准教授	がん細胞に対して物理的な膜傷害を与えるポリマー型治療用薬剤の創製
澤間　善成	大阪大学　大学院薬学研究科 薬品製造化学分野　准教授	低分子創薬に資する重水素化物質の合成と活用
重野　真徳	東北大学　大学院 薬学研究科分子変換化学分野　准教授	有機超塩基触媒による脱フッ素化官能基化反応の開発
清水　太郎	徳島大学　大学院医歯薬学研究部 薬物動態制御学分野　特任助教	B細胞標的型mRNA搭載LNPの製剤設計と有用性評価
白坂　善之	金沢大学　医薬保健研究域薬学系 薬物動態学研究室　准教授	量子ドットによる透明化組織・細胞イメージング技術を活用した中分子ペプチド医薬の経口吸収性評価法の確立
鈴木　哲矢	広島大学　大学院 医系科学研究科（薬）　核酸分析化学研究室　助教	新規抗癌剤標的探索に向けた損傷乗り越えDNA合成蛋白質複合体の機能制御解明
鈴木　良明	名古屋市立大学　大学院薬学研究科 細胞分子薬効解析学分野　講師	血管リモデリング形成に対する平滑筋カルシウムマイクロドメインの役割の解明
高田　悠里	大阪大学　産業科学研究所 複合分子化学研究分野・鈴木研究室　助教	ペプチドを基盤としたタンパク質分解誘導剤創出技術の開発

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
髙橋　大輔	慶應義塾大学 薬学部生化学講座　専任講師	腸内細菌を自己として認識するγδT17細胞による宿主-腸内細菌共生関係構築
武村　直紀	大阪大学　大学院薬学研究科 生体応答制御学分野　准教授	古典的インフラソーム非依存的なパイロトーシスの理解と制御に基づく疾患療法の開発
多田　教浩	岐阜薬科大学 創薬化学大講座・合成薬品製造学研究室　講師	中分子創薬に資するトリアゾール人工生命鎖の開発
中尾　裕之	富山大学　学術研究部薬学・和漢系 生体界面化学研究室　助教	がん細胞貪食を誘導するフリップフロップ促進ペプチドの開発
中村　庸輝	広島大学　大学院医系科学研究科(薬) 薬効解析科学研究室　助教	細胞老化ミクログリアに着目した老年期精神神経疾患の病態形成メカニズムの解明と新規治療薬の開発
永安　一樹	京都大学　大学院薬学研究科 生体機能解析学分野　助教	うつ病悪化セロトニン神経の機能抑制による画期的抗うつ薬の開発
西村　壮央	慶應義塾大学　薬学部 天然医薬資源学講座　助教	非天然型微生物-植物ハイブリッド中分子化合物ライブラリーの構築
野田　秀俊	微生物化学研究会 微生物化学研究所・有機合成研究部　主任研究員	化学選択的触媒反応で拓く創薬に資するsp3炭素リッチ化合物の迅速供給
東阪　和馬	大阪大学　大学院薬学研究科 毒性学分野　准教授	ナノ粒子による胎盤毒性と脆弱な世代への健康影響評価
久松　洋介	名古屋市立大学　大学院薬学研究科 精密有機反応学　講師	低副作用かつ高効率な光線力学療法を指向した光増感剤高親和性超分子ナノキャリアの創製
平　大樹	京都大学　医学部附属病院 薬剤部　助教	薬物動態関連遺伝子パネル検査による薬物相互作用の先制的精緻予測法の構築
平野　圭一	金沢大学　医薬保健研究域薬学系 元素創薬合成化学　教授	理論と合成元素化学が拓く治療と診断に向けた生体適合性色素の開発研究
森崎　一宏	北海道大学　大学院薬学研究院 精密合成化学研究室　助教	多様性を指向したポリフルオロアルカンの効率的合成~新規創薬モチーフとしての可能性を拓く~
矢内　光	東京薬科大学 薬学部・薬品製造学教室　准教授	フッ素で安定化されたカルボアニオン性置換基の汎用導入法の開発と細胞膜透過性制御への応用
山崎　賢	岡山大学　学術研究院自然科学学域 有機金属化学研究室　助教	糖質化合物へのペンタフルオロスルファニル基導入手法の確立
山梨　義英	東京大学　医学部附属病院 薬剤部　講師	消化管脂質トランスポーターによる妊孕性制御機構の解明とリプロダクティブヘルス改善への応用
山本　昌平	東京大学　大学院　薬学系研究科 生理化学教室　助教	中心小体複製の時空間ダイナミクスとその破綻による中心小体数異常の定量的解明
輪島　丈明	名城大学　薬学部 微生物学研究室　准教授	薬剤耐性が問題となる病原菌の進化機構を利用した感染制御法の開発
渡邊　裕之	京都大学　大学院薬学研究科 病態機能分析学分野　講師	Aβオリゴマーを標的としたニューロセラノスティクス薬剤の開発

計41件

薬学系研究継続助成

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
岸　雄介	東京大学　定量生命科学研究所 分子神経生物学研究分野　准教授	生体内ニューロンの一生にわたるクロマチン構造変化の解析
熊田佳菜子	東北大学　大学院薬学研究科 分子変換化学分野　助教	銅触媒を用いた分子状酸素活性化による直截的かつ環境調和的な医薬品構成化合物合成法の開発

氏　名	所属機関・職位	研究題目
竹内　恒	東京大学 大学院薬学系研究科・生命物理化学教室　教授	バイオ医薬の非侵襲的評価を可能にする立体構造解析技術の開発
畠山　浩人	千葉大学 大学院薬学研究院・薬物学研究室　教授	腫瘍間質と免疫状態の制御を可能とする膵癌選択的医薬送達による膵癌免疫療法の開発
原田　慎吾	千葉大学 大学院薬学研究院薬化学研究室　講師	芳香族フィードストックと未開拓化学種を利活用した薬理活性分子群の創生
平田　祐介	東北大学 大学院薬学研究科衛生化学分野　助教	ヒト難治性疾患治療に繋がる霊長類特異的新規ユビキチン化酵素ファミリー分子群の包括的機能解析

計6件

ライフサイエンス研究助成

氏　名	所属機関・職位	研究題目
安喜　史織	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科　バイオサイエンス領域 植物成長制御研究室　助教	植物におけるDNA倍加誘導の分子メカニズムの解明
井川　敬介	名古屋大学 理学研究科理学専攻遺伝学グループ　助教	力学シグナルによる細胞離脱誘導メカニズムの解明
池田　直輝	東京薬科大学　生命科学部 免疫制御学研究室　特定助教	制御性単球の分化誘導機構の解明とその知見に基づく分化制御法の開発
井澤　俊明	東北大学　多元物質科学研究所 生体分子構造研究分野　助教	CATテイリングと糖鎖修飾機構の協奏による新規タンパク質品質管理機構の解明
伊藤　晋作	東京農業大学　生命科学部バイオサイエンス学科 機能性分子解析学研究室　准教授	ストリゴラクトン機能の個別制御を目指したストリゴラクトン生合成研究
太田　禎生	東京大学　先端科学技術研究センター ロボティック生命光学分野　准教授	ネットワーク化液滴技術による未知細菌叢の大規模多角解析と活用
岡本　暁	新潟大学　農学部農学科 生物資源科学プログラム　准教授	葉の遮光が引き起こす全身的な影響に関する分子機構の研究
小澤　貴明	大阪大学 蛋白質研究所高次脳機能学研究室　助教	最先端光ドーパミン計測と神経操作が明らかにする恐怖学習の脳内メカニズム
景山　達斗	神奈川県立産業技術総合研究所 「再生毛髪の大量調製革新技術開発」プロジェクト 常勤研究員	白髪メカニズム解明のためのヒト毛包オルガノイドの開発
加藤　大貴	愛媛大学　大学院理工学研究科 環境機能科学専攻　生物環境科学コース　助教	植物の体制構築原理の解明に向けた栄養繁殖器官の単離・同調培養法の開発
金子賢太朗	明治大学　農学部農芸化学科栄養生化学研究室 専任講師	運動環境の有無と油脂の質による新しい抗肥満戦略
鎌田　瑠泉	北海道大学 大学院理学研究院化学部門生物化学研究室　准教授	好中球サブセット分化制御を介したがん免疫制御機構の解明
川上　巧	京都大学　高等研究院 物質－細胞統合システム拠点（iCeMS） 見學研究室　特定助教	細胞運動に伴う核変形：神経上皮組織の細胞生産へもたらす影響
木内　隆史	東京大学　大学院農学生命科学研究科 生産・環境生物学専攻　昆虫遺伝研究室　准教授	カイコにおける性転換技術の開発
呉　泉	理化学研究所　生命機能科学研究センター 非対称細胞分裂研究チーム　研究員	脳の拡大化を支配する時間スケーリング機構を解く
齋藤　祐一	理化学研究所　生命機能科学研究センター 心臓再生研究チーム　研究員	出生後の哺乳類心臓における核酸代謝亢進機構の解明
佐々　彰	千葉大学　大学院理学研究院　生物学研究部門 クロマチン代謝制御研究室　准教授	難治性炎症疾患を誘発する多次元ゲノム不安定化の分子機構

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
佐藤　晴香	熊本大学　発生医学研究所・脳発生分野 特別研究員	大脳領野サイズの多様性創出メカニズムの解明
庄司　佳祐	東京大学　定量生命科学研究所 RNA機能研究分野　助教	細胞内共生細菌による宿主piRNA経路操作機構の解明
鈴木　敢三	東京理科大学 先進工学部生命システム工学科瀬木研究室 嘱託助教	うつ病の病態に寄与する海馬神経回路異常の解明
関　貴一	弘前大学　大学院理工学研究科 物質創成化学科　助教（PI）	細胞情報を時空間に検出するための，発光ナノシート上の高精度イオンバイオプローブの開発
谷本　昌志	自然科学研究機構　基礎生物学研究所 神経行動学研究部門　助教	複数の感覚入力の統合による動作識別の神経回路基盤
丹澤　豪人	大阪大学　蛋白質研究所 蛋白質構造生物学研究部門 電子線構造生物学研究室　特任研究員	SecM翻訳アレスト機構をハイジャックしたtmRNAによるリボソーム救出機構の解明
茶谷　悠平	東京工業大学　科学技術創成研究院 細胞制御工学研究センター 田口研究室　特任助教	タンパク質合成装置の弱点を補強する「潤滑油」的翻訳因子群の機能解析
塚野　千尋	京都大学　大学院農学研究科食品生物科学専攻 食品生命科学講座　生命有機化学分野　准教授	HIV根治を目指した新規PKCリガンドの創出
寺川　剛	京都大学　大学院理学研究科生物物理学系 理論生物物理学分科　助教	分子シミュレーションとナノポアシーケンスによるヒストンリサイクルのシャペロン機構の解明
橋川　直也	岡山理科大学　理学部・臨床生命科学科・ 臨床分子遺伝学研究室　准教授	アミロイドベータに着目したうつ病発症の新規メカニズムの解明
東島　佳毅	宮崎大学 テニュアトラック推進室農学系基礎獣医学分野 テニュアトラック准教授	血管炎症における転写駆動装置としてのヒストンアセチル化の統合的理解
平泉　将浩	東京大学　大学院工学系研究科 化学生命工学専攻西増研究室　助教	CRISPRトランスポゼースCAST複合体によるDNA挿入機構の解明
藤枝　伸宇	大阪公立大学　大学院農学研究科 生命機能化学専攻生物物理化学研究室　教授	人工非ヘム金属酵素の分子設計と立体分岐型合成への応用
古水　千尋	広島大学　自然科学研究支援開発センター 遺伝子実験部　助教	RNA修飾による細胞分化の制御～コケ植物ゼニゴケの発生における検討～
堀江　良子	大阪大学　大学院生命機能研究科 1細胞神経生物学研究室　特任研究員	双極型神経細胞の軸索形成を制御する分子機構の解明
松崎　賢寿	大阪大学 大学院　工学研究科附属 フューチャーイノベーションセンター　若手卓越教員 （兼担：物理学講座 助教）	フェムト秒レーザーによる硬さスクリーニング技術の創生
松田　隆志	東京工業大学　科学技術創成研究院 生体恒常性研究ユニット　特任助教	感覚性脳室周囲器官におけるミクログリアを介した血圧制御機構の解析
丸山　大輔	横浜市立大学　木原生物学研究所 植物エピゲノム科学部門　准教授	順遺伝学による植物精細胞の輸送因子の同定
宮島　俊介	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科バイオサイエンス領域 植物発生シグナル研究室　助教	植物の根冠ムシレージ粘液層を構築する分子基盤の解明
宮前　友策	筑波大学　生命環境系　生命環境群 生命地球科学研究群　准教授	直交的な脱ユビキチン化反応の開発
宮道　和成	理化学研究所　生命機能科学研究センター 比較コネクトミクス研究チーム　チームリーダー	自閉症モデルマウスにおけるオキシトシン神経細胞の転写ネットワークの異常
村上　慧	関西学院大学　理学部化学科有機化学研究室 准教授	第4級アンモニウム塩の触媒合成法の開発と化合物ライブラリーの構築

氏　名	所属機関・職位	研究題目
森田梨津子	理化学研究所　生命機能科学研究センター 細胞外環境研究チーム　上級研究員	網羅的細胞動態解析から明らかにする多細胞システム構築原理の解明
八代　悠歌	東京大学　大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻・RNA生物学分野 特任助教	RNA修飾酵素による特異的なmiRNA発現制御の分子基盤解明
山上　龍太	愛媛大学　大学院理工学研究科 応用生物化学研究室　助教	ストレス応答に伴う細胞内tRNAの質的変動を新たな手法で解明する
吉田　真明	島根大学　農生命化学系　准教授	例外的に終生繁殖する頭足類にみる寿命特性を制御するエピゲノム機構

計43件

ライフサイエンス研究継続助成

氏　名	所属機関・職位	研究題目
稲葉　有香	金沢大学　新学術創成研究機構 革新的統合バイオ研究コア 栄養・代謝研究ユニット　准教授	肝臓グルコース応答の新規制御機構とその役割の解明
梅田　達也	京都大学　医学研究科 脳統合イメージング分野　准教授	中枢・末梢神経系の統合的解析による随意運動制御の神経機構の解明
坂本　卓也	東京理科大学　理工学部応用生物科学科 特別講師	植物におけるセントロメア配置の生物学的意義の探索
宮本　潤基	東京農工大学　大学院農学研究院 応用生命化学部門・食品機能学研究室 テニュアトラック准教授	母体栄養環境変化が仔のエネルギー代謝調節に及ぼす影響
三好知一郎	京都大学　大学院生命科学研究科 石川冬木研究室　准教授	免疫応答撹乱を引き起こすレトロトランスポゾン制御機構の解析

計5件

特定研究助成

機関名	代表者	部科・職位	研究題目
茨城大学	中村　麻子	理工学研究科理学野　教授	光線力学を利用した新規がん診断・治療のためのセラノスティクスシステム開発およびがんリスク制御のための分子基盤確立
岡山大学	遠西　大輔	ゲノム医療総合推進センター 研究教授	慢性炎症性呼吸器疾患の病態進行と腫瘍化における時空間的分子メカニズム解明と新規治療開発
岐阜大学	藤田　盛久	糖鎖生命コア研究所 糖鎖分子科学部門・システム糖鎖生物学研究室　教授	糖鎖のケミカルバイオエンジニアリングと1分子追跡によるプリオン病態の理解と制御
国立成育医療研究センター	深見　真紀	研究所　副所長	病院-研究所連携による小児難病の病態解明と診断法開発
国立精神・神経医療研究センター	荒木　敏之	神経研究所　疾病研究第五部 部長	神経・精神疾患病態におけるマイクロバイオームの意義に関する研究
信州大学	柴　祐司	医学部再生医科学教室 教授	細胞・遺伝子融合研究による心筋再生実用化を目指した免疫制御法の開発
東京大学	富田　泰輔	大学院 薬学系研究科機能病態学教室 教授	加齢に伴うプロテオスタシス異常による神経変性疾患に対する革新的治療・予防法開発
東京理科大学	中村　由和	理工学部応用生物科学科 中村研究室　准教授(PI)	細胞膜構成リン脂質による老化制御機構の解明

機　関　名	代　表　者	部科・職位	研　究　題　目
同志社大学	坂場　武史	大学院脳科学研究科 シナプス分子機能部門　教授	神経シナプス可塑性の構成的理解と脳機能回復
長崎大学	佐藤　克也	大学院　医歯薬学総合研究科 教授（脳科学ユニット長）	プリオン病の克服をめざしたプリオン病の早期診断・治療法開発の拠点形成
兵庫医科大学	石戸　　聡	医学部、病原微生物学講座 教授	機能的T細胞エピトープ解析を基軸とした研究拠点の構築
三重大学	ガバザ エステバン	大学院医学系研究科　免疫学 教授	細菌叢由来アポトーシス誘導ペプチドの非アルコール性脂肪性肝炎における意義と分子機構の解明

計12件

ビジョナリーリサーチ助成（スタート）

氏　　名	所属機関・職位	研　究　題　目
味岡　逸樹	東京医科歯科大学　統合研究機構・ 脳統合機能研究センター　准教授	分子集合体ゲルを駆使した脳内オルガノイド培養技術の創製
石内　崇士	山梨大学　生命環境学部・生命工学科・ 細胞ポテンシャル研究室　准教授	卵子形成・維持に資する遺伝子群の網羅的同定とその分子機能の解明
伊藤　章吾	久留米大学　医学部医学科 内科学講座心臓・血管内科部門　助教	心臓のホメオスタシスを構築する免疫担当細胞の役割の解明
伊藤美智子	名古屋大学　環境医学研究所 分子代謝医学分野　特任准教授	死細胞貪食に伴うイムノメタボリズム変調の理解と医学応用
岡田　欣晃	大阪大学　薬学研究科 臨床薬効解析学分野　准教授	血管を標的とする病原体を選ばない重症感染症治療薬の開発
小野　悠介	熊本大学　発生医学研究所 筋発生再生分野　教授	健康長寿社会の実現に向けた筋力トレーニング効果の獲得分子基盤の解明とその制御
河原崎和歌子	国際医療福祉大学 基礎医学研究センター　准教授	Klotho-Wnt5a系を標的とした新たな高血圧及び血管障害治療法の開発
北本　宗子	大阪大学　IFReC・免疫微生物学 特任准教授（常勤）	難治性小児腸疾患マウスモデルの確立
後藤　典子	金沢大学　がん進展制御研究所 分子病態研究分野　教授	超早期がん微小環境の分子機序解明によるがん予防法の開発
佐藤　守俊	東京大学　大学院総合文化研究科広域科学専攻 生命環境科学系佐藤守俊研究室　教授	光操作に基づく遺伝子治療技術の創出
砂川玄志郎	理化学研究所　生命機能科学研究センター 冬眠生物学研究チーム　チームリーダー	人工冬眠と不冬眠細胞による次世代型癌治療法の開発
高島　康弘	京都大学 iPS細胞研究所　准教授	幹細胞を部分リプログラミングし、個体機能を回復させる
髙野　哲也	慶應義塾大学 医学部生理学（神経生理）教室　助教	脳内分子動態の全容解明に向けた時空間的プロテオーム技術の開発と応用
高橋　暁子	がん研究会 がん研究所細胞老化研究部　部長	ストレスによる細胞運命決定機構の解明
田中　広祐	国立がん研究センター 腫瘍免疫研究分野　主任研究員	DNA損傷応答に着目した分子標的薬の根源的な耐性克服を目指す新規肺がん治療の開発
田中　芳彦	福岡歯科大学　口腔歯学部 感染生物学分野　教授	歯周病における免疫応答の解明と腸内細菌による予防法・治療法の開発
辻　　竣也	山口大学　医学系研究科 薬理学講座　助教	ウイルス感染おける細胞老化の役割の解明
中嶋　洋行	国立循環器病研究センター 研究所・細胞生物学部　細胞機能研究室　室長	血管が主導する新たな組織形成機構の解明

氏　名	所属機関・職位	研究題目
中津　史	新潟大学 医学部生化学第二　准教授	メンブレンコンタクトを介したオルガネラ間脂質交換輸送システムの理解とその応用
永松　剛	山梨大学 高度生殖補助技術センター　教授	体外誘導卵子の発生率改善を基にした卵子の機能回復方法の開発
丹羽　康貴	弘前大学　医学研究科 病態薬理学・睡眠記憶研究室　准教授	眠気のもとを感知する細胞の発見とその応用
野々村恵子	東京工業大学　生命理工学院 野々村研究室　准教授	脳脊髄液のメカニカルダイナミクス制御機構の解析
長谷　耕二	慶應義塾大学 薬学部生化学講座　教授	IgAバリアの構築と破壊に関する統合的理解
平井　志伸	東京都医学総合研究所　精神行動医学研究分野 フロンティア研究室、脳代謝制御グループ 主任研究員、グループリーダー	脳内へのグルコース取り込み障害に伴う認知機能低下の発症メカニズムの解明と治療法の開発
松村　貴由	自治医科大学　分子病態治療研究センター・ 循環器内科　講師	造血幹細胞老化による心血管疾患発症機序の解明
水関　健司	大阪公立大学　大学院医学研究科 神経生理学　教授	環境に応じた柔軟な行動変容を実現する神経活動の時空間ダイナミクス
三輪　秀樹	国立精神・神経医療研究センター 精神薬理研究部　分子精神薬理研究室　室長	アルツハイマー病発症機構におけるGABA神経機能不全
森永　浩伸	名古屋大学　環境医学研究所・ 発生遺伝分野　特任准教授	組織幹細胞老化が誘発する皮膚老化メカニズムの解明
山嵜　博未	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター　主任研究員	白血病治療を目的としたアミノ酸代謝機構の統合的理解
山下　貴之	藤田医科大学　医学部 生理学II講座　教授	触覚に誘発される快情動の解剖・生理学的基盤の解明
山田　健一	九州大学 大学院薬学研究院　教授	酸化脂質分子が引き起こす生体反応

計31件

ビジョナリーリサーチ継続助成（ホップ）

氏　名	所属機関・職位	研究題目
Wong Richard	金沢大学 ナノ生命科学研究所　教授	新型コロナウイルスのタンパク質のナノ立体構造変換反応と構造創薬への開発
小川　渉	神戸大学　大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科　教授	運動効果模倣薬開発を目指した不動化固有の病理機構の解析
菊池　次郎	自治医科大学 分子病態治療研究センター幹細胞制御研究部 准教授	完全人工合成ライブラリーを用いた治療用VHH抗体の開発
志甫谷　渉	東京大学　大学院理学系研究科生物科学専攻 濡木研究室　助教	構造に指南された、がんの克服を目指したリゾリン脂質受容体作動薬の創出
滝澤　仁	熊本大学 国際先端医学研究機構　特別招聘教授	造血幹細胞と骨髄の成熟ダイナミクス
竹田　哲也	岡山大学　学術研究院医歯薬学域（医）生化学分野 研究准教授	ダイナミンの疾患型SNVの多階層解析から解明する希少難治性疾患の発症機序
中沢　由華	名古屋大学 環境医学研究所　発生遺伝分野　講師	転写と共役したDNA修復の分子機構究明とDNA修復欠損性遺伝性疾患の病態解明
増田　隆博	九州大学　生体防御医学研究所 分子神経免疫学分野　教授	脳内マクロファージサブタイプの機能分離解析に基づく中枢神経系疾患発症メカニズムの理解と新規治療法の創出

氏　名	所属機関・職位	研究題目
眞鍋　一郎	千葉大学　大学院医学研究院 疾患システム医学　教授	造血・免疫系によるライフコースのストレス記憶と多病発症機序の解明
宮本　大祐	富山大学　研究推進機構アイドリング脳科学研究センター、睡眠脳ダイナミクス研究室　准教授	睡眠脳ネットワークの多階層構造

計10件

ビジョナリーリサーチ継続助成（ステップ）

氏　名	所属機関・職位	研究題目
石谷　太	大阪大学　微生物病研究所 生体統御分野　教授	超短命魚ターコイズキリフィッシュを用いた個体老化機構の解明と、それを基盤とした健康寿命延伸技術の開発
大谷　直子	大阪公立大学　大学院医学研究科・ 病態生理学　教授	腸内細菌によるがんの予防・治療補助法の開発
小田ちぐさ	筑波大学 医学医療系生命医科学域免疫制御医学　助教	貪食を制御する機構の解明
久堀　智子	岐阜大学　医学部　医学系研究科 病原体制御学分野　准教授	細菌の感染戦略が切り拓く新規ユビキチン制御機構の解明
中澤　敬信	東京農業大学 生命科学部バイオサイエンス学科　教授	分子病態に基づく自閉症の分類化のトランスレーショナル研究

計5件

ビジョナリーリサーチ継続助成（ジャンプ）

氏　名	所属機関・職位	研究題目
鈴木　淳史	九州大学　生体防御医学研究所 器官発生再生学分野　教授	消化器系器官におけるダイレクトリプログラミング研究

計1件

中学校・高等学校理科教育振興助成

＜中学校＞

氏　名	所属機関・職位	研究題目
青鹿　吉洋	恵泉女学園中学・高等学校 教諭（中学２学年主任）	理科教育における電子観望の可能性と生徒主体の具体的な実践例の探究
浅見　拓真	白山市立笠間中学校 教諭	AR教材とScratchを用いた天体分野の『学び合い』授業実践
今澤　宏太	大阪教育大学附属天王寺中学校 教諭	IoTセンサーを活用したビオトープの定量的観測
小野友紀子	弘前市立南中学校 教諭	世界遺産「白神山地」とマタギの知恵から学ぶＳＤＧｓ
小林　暉	福井市至民中学校 教諭	中学理科における防災教育を取り入れた地学分野カリキュラムの開発と実践
佐藤　大志	網走市立第一中学校 主幹教諭	「主体的・対話的で深い学び」を実現する電流モデル実験の開発（中学校～高校編）
杉田　泰一	広島大学附属中・高等学校 教諭	身近な砂を起点とした地球システムの探究
春原　実	宮城県多賀城市教育委員会 社会教育主事	古代製鉄方法を学校現場等の学習に取り入れる取り組み
墨野倉伸彦	立教新座中学校・高等学校 教諭	熱帯植生を学校に再現し、生態学的な探究活動を実践する

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
髙橋　弾	釧路市立幣舞中学校 教諭	地学領域における「地球システム概念」の形成に向けたカリキュラム開発
谷本　薫彦	津山市立北陵中学校 指導教諭	コーナーキューブをコアにした領域横断的に学ぶSTEAM教育のカリキュラム開発とその評価　～理科に閉じない理科の実践研究～
永野　猛人	福岡県筑紫野市立二日市中学校 主幹教諭	ニホンミツバチ養蜂生産物を活用した中学校理科学習指導の充実
橋本　悟	浦和実業学園中学校・高等学校 教諭	環境教育の充実化を図るアマモの培養とサンゴの飼育
廣瀬　里佳	山脇学園中学校・高等学校 理科教諭	アコヤガイの危機を通した新しい貝教育の開発
増田　智	茨城県立土浦第一高等学校附属中学校 教諭	鉄をつくる探究的な実験プログラムの開発と合金作製への応用
松本　隆	長崎市立伊王島中学校 教諭	防災教育の視点に基づいた理科学習プログラムの開発～地理情報システムと３Ｄモデルの活用を通して～
山田　一幸	筑波大学附属桐が丘特別支援学校 教諭	インクルーシブ教育実現に向けて様々な障害種に対応した肢体不自由生徒が安全にできるマイクロスケール実験の教材開発と実践
山本　理恵	神戸市立布引中学校 教諭	理系女子を育てるためのペア実験・1人１実験の教材開発と授業実践
米沢　剛至	滝川第二中学校・高等学校 教諭	ゲル式電気泳動装置の中学理科への導入

計19件

＜高等学校＞

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
秋山　和広	早稲田大学高等学院 教諭	高等学校における生体電位測定技術の教材化と授業内実践
池内　理人	北海道滝川高等学校 教諭	非海岸地帯での海洋生物の飼育・観察方法の改良オホーツクで採取した生物教材の無料配布と紹介
池谷　仁里	兵庫県立高砂南高等学校 教諭	巨木化・老齢化した樹木から見た校内植生の現状と課題
乾　まどか	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 主幹教諭	英語科から広げる『天』と『地』の授業プログラムの開発と普及～科学者の追体験～
今井　丈暁	岐阜県立大垣西高等学校 教諭	「南宮山」に生息するニホンジカに関する生態学的解析
岩谷　英直	栃木県立小山北桜高等学校 教諭	できるか、見える化？建物の揺れを科学する！
大田　毅	開星中学高等学校 学年主任	ゲーミフィケーションを導入した学習展開は生徒の主体性向上と理系離れ抑制に効果があるかを検証する～化学基礎暗記単元におけるカードゲーム作成～
大場　祐汰	茨城県立玉造工業高等学校 教諭	分子シミュレーションやプログラミングを活用した化学探究活動の創出－ICTの活用で「感覚的な理解」から「論理的な理解」への転換を目指して－
小川　博久	植草学園大学附属高等学校 非常勤講師	「マイウニ飼育」から考える生命と海の学びプログラムの開発
奥村　昌美	京都府立亀岡高等学校 実習助手	国内の城水堀に生息する野生メダカの遺伝子型分布および遺伝的撹乱の解析について

氏　名	所属機関・職位	研 究 題 目
小黒　環	姫路市立飾磨高等学校 教諭	海水生魚食魚であるスズキに右利き・左利きは存在するのか！？
小野寺弘幸	盛岡市立高等学校 教諭	地球表層部地下構造の可視化による，横断的な思考を育む授業実践
片岡　佑輔	東洋大学附属牛久高等学校 教諭	霊長類ヒト科動物の系統樹を描く生徒実習教材の開発とその効果―3Dプリンターで作製した頭骨のミニレプリカ標本を用いた観察・計測・分析―
亀田麻記子	順天中学高等学校 特任講師	「知る」から始める環境教育プログラムの開発 ―トンボの生息環境把握と生物多様性保全への歩み―
河井　昇	大阪府立天王寺高等学校 教諭	アカムシの唾腺染色体の観察を題材としたセントラルドグマの可視化
川島　愛美	東京都立目黒高等学校 教諭	天井投影型の大型水波投影装置の開発と授業における工夫と実践
河田　雅幸	岐阜県立八百津高等学校 教諭	山間のため池にあるマイクロプラスチックの研究Ⅲ
木原　秀人	山口県立下関工科高等学校 教諭	地域の雷観測システムの開発－ ものづくりと日々の観測を通して大気電気現象やIoTおよびSDGsを身近に －
小荒井千人	慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部 教諭	植物化石を用いた古気温と古環境を推定する高等学校地学の探求的教材の開発と実践
竿下　央	大阪学園大阪高等学校 教諭	環境DNA分析を利用した淀川水系の魚類相調査－中高接続を通じた生物保全の実践活動－
佐々木　淳	北見藤高等学校 教頭	1人1台ＰＣを効果的に活用した，たのしくわかる高校物理の生徒実験開発と実践
島野　誠大	立教新座中学校・高等学校 教諭	物理と生物の科目横断的な視点に立ったDNA二重らせん構造の教材開発
住川　真和	新潟県立高田高等学校 教諭	廃棄物系バイオマスからのバイオエタノール生成に関する研究
髙橋　寛明	愛媛県立松山商業高等学校 教諭	タデアイの葉を用いた赤い藍染の実現に向けて
田代　拓	山形県立加茂水産高等学校 教諭	水中フォトグラメトリー技術を応用した藻場モニタリングによる環境保全と教材化
田中　伸樹	浦和実業学園高等学校 常勤講師	水の浄水・汚水処理を通して、化学がどのように人々の生活に役立つかを感覚的・直観的に理解できるような実験装置の作成と授業の実践
壷井　宏泰	兵庫県立舞子高等学校 教諭	[質量]と[重さ]と「浮力」の理解を深める実験教材の開発
寺本　英晃	埼玉県立坂戸高等学校 教諭	モール法を用いた有色Co錯体の定量分析に関する実験教材の開発
友松　央樹	京都府立園部高等学校 教諭	生徒の自由な発想による自然科学分野の探究活動プログラムの確立　～思考力・判断力・表現力を養うための生徒主体の実践研究を目指して～
仲野　純章	奈良県立奈良高等学校 教諭・研究推進部長	理科教育における音源用途としての音叉の特性理解と最適化開発
中野　智保	仙台城南高等学校 教諭	野生動物を教材とした環境教育～実感を伴った理解と科学的思考力の育成を目指して～
名取　慶	玉川学園高等部 常勤講師	環境DNA分析を用いたサンゴ学習教材の開発

氏　名	所属機関・職位	研究題目
成田　彰	東京工業大学附属科学技術高等学校 教諭	土壌中微生物を利用した電池（泥電池）に対する生物・化学的な検討および実習教材としての開発
西澤　拓未	長野県長野工業高等学校 教諭	水耕栽培がもたらす果樹の未来～省資源化による環境課題への挑戦～
長谷川光隆	愛知県立佐屋高等学校 教諭	もったいないプロジェクト　規格外トマトの有効利用（ドライトマトとトマトパウダーを利用して）と地域普及活動
濱島　裕輝	東京都立墨田川高等学校 教諭	アサガオのABCモデルを利用した遺伝子実験教材の開発
濱田　芙美	広島県立大門高等学校 教諭	大門高校周辺における植物環境の変化とチョウ類の多様性～失われた環境を模したバタフライガーデンの設置は多様性の復元に効果が見られるのか～
樋之口　仁	池田学園池田中学高等学校 教諭	地域素材「活火山」を探究する課題研究の実践～生徒による火山ガス分析・火山噴煙の帯電状態観測・火山雷観測の工夫～
福田　哲也	追手門学院大手前中高等学校 室長	ロボット開発によるSDGsなどの社会課題の解決を目指したSTEAM教育の推進と展開
福本　奈由	大阪府立茨木高等学校 教諭	メタバースで茨高ミュージアム　～学校の魅力を発信するためのメタバースの活用～
藤田　純太	京都府立福知山高等学校 教諭	京都沖深海性エビ類の食性解析から読み解く深海適応戦略 ～地元水産資源を活用した高校生の探究プログラム～
藤浪　謙	奈良県立西和清陵高等学校 教諭	墨作りの原理を活用した炭素材料が分散したキセロゲルの簡便合成
帆苅　信	新潟県立新潟翠江高等学校 教諭	通信制高校における魅力的なDNA実験教材の開発
保坂　勝広	東京都立科学技術高等学校 主任教諭	未利用資源としての林地残材の熱分解によるガス化に関する研究
前廣　清香	武蔵高等学校中学校 教諭	高等学校生物学教育における分子生物学的実験の導入
松本　隆行	東京都立新宿高等学校 主任教諭	進学重視型高等学校において実社会・実生活との関連を重視した化学基礎・化学の学習プログラムの開発
宮川　萌	北海道伊達緑丘高等学校 教諭	有珠山噴火後における生態系の回復と移り変わり1910年および2000年噴火の四十三山、西山の動物相、植物相、菌類相の比較を通して
村山　一将	札幌日本大学高等学校 教諭	「生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養う」ための総合的な環境教育プログラムの開発とその普及
森下　忠志	東京都立八王子東高等学校 指導教諭	高校生物の授業で扱う微生物等の教材生物の生物実験室での維持と、それらを活用した実験方法、及び実験を効果的に行うための生物実験室環境整備の指針の作成
山中　康彰	関西大学第一高等学校・中学校 教諭	真の「生き物好き」になるための多様な人材交流と生徒らのキャリア形成を目的とした一歩先を行く生物部の活動
横山　一郎	湘南学園中学校高等学校 非常勤講師	スマホの位置情報と画像を登録するアプリの開発―フィールドでデジタル端末を活用する生態系学習方法の検討―

計51件

2023年度 応募件数・採択件数・採択率

プログラム名	応募件数	採択件数	採択率
武田報彰医学研究助成	26	10	38%
ハイリスク新興感染症研究	51	10	20%
生命科学研究助成	203	30	15%
医学系研究助成（がん領域・基礎）	121	45	37%
医学系研究助成（がん領域・臨床）	65	24	37%
医学系研究助成（精神・神経・脳領域）	117	44	38%
医学系研究助成（感染領域）	69	26	38%
医学系研究助成（基礎）	175	66	38%
医学系研究助成（臨床）	95	35	37%
医学系研究助成（小計）	**642**	**240**	**37%**
医学系研究継続助成（がん領域・基礎）	12	5	42%
医学系研究継続助成（がん領域・臨床）	8	3	38%
医学系研究継続助成（精神・神経・脳領域）	19	8	42%
医学系研究継続助成（感染領域）	3	1	33%
医学系研究継続助成（基礎）	24	10	42%
医学系研究継続助成（臨床）	7	3	43%
医学系研究継続助成（小計）	**73**	**30**	**41%**
薬学系研究助成	140	41	29%
薬学系研究継続助成	12	6	50%
ライフサイエンス研究助成	177	43	24%
ライフサイエンス研究継続助成	11	5	45%
特定研究助成	27	12	44%
ビジョナリーリサーチ助成	397	31	8%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ホップ）	18	10	56%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ステップ）	11	5	45%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ジャンプ）	6	1	17%
中学校理科教育振興助成	27	19	70%
高等学校理科教育振興助成	72	51	71%
合計	**1,893**	**544**	**29%**

別表（2）

2023年度来日外国人留学者（国/地域別人数）

〈2024年3月31日現在〉

国/地域名	2023年度計画（人数）	2023年度承認（人数）	実　績（人数）				備　考
			本年度	前年度繰越	次年度繰上	計	
台　湾	3	3	3	1		4	
タ　イ	6	6	6	1		7	
フィリピン	6	6	5			5	1名次年度繰越
韓　国	3	1	0	1		1	1名次年度繰越
中　国	8	6	6	2		8	
インドネシア	6	5	5			5	
ベトナム	3	3	3	1		4	
7指定国/地域小計	35	30	28	6		34	
上記7指定国/地域以外	10	10	10	1		11	
総　計	45	40	38	7		45	

2023年度外国人留学者明細

2023/4/1-2024/3/31来日者

氏　　名	所　　属	研究機関
中　　国		
Ke Shang 尚可 2022年度	Jiangxi Provincial People's Hospital	順天堂大学大学院医学研究科 膠原病・リウマチ内科学
Bo Sun 孙博 2022年度	The First Affiliated Hospital of Hainan Medical College	富山大学医学部 整形外科
Jie Zeng 曾杰	Xinjiang Production and Construction Corps Hospital	東京女子医科大学附属足立医療センター 脳神経外科
Liang Tang 汤亮	Hengyang Central Hospital	順天堂大学大学院医学研究科 整形外科学講座
Lianwei Li 李连伟	Harbin Medical University Cancer Hospital	順天堂大学医学 産婦人科学講座
Xianxian Liu 刘先先	Jiangxi Provincial Maternal and Child Health Hospital	順天堂大学医学部 産婦人科学講座
Yarong Wang 王雅蓉	General Hospital of Ningxia Medical University	島根大学医学部 内科学講座
Qing Deng	Renmin Hospital of Wuhan University	順天堂大学医学部 消化器内科学講座
小　　計	8名	
台　　湾		
Yu-Hsuan Lin 2022年度	Kaohsiung Veterans General Hospital	東京医科歯科大学病院 頭頸部外科
Hou-Chen Lee 李後震	Gang Gung Memorial Hospital, Linkou	京都大学医生物学研究所 微細構造ウイルス学分野
Li-Min Liao 廖立民	Taipei Medical University, Shuang Ho Hospital	国立がん研究センター中央病院 乳腺外科
Chao-Feng Chang 張肇丰	Tri-Service General Hospital	東京医科歯科大学医学部附属病院医科 光学医療診療部
小　　計	4名	
韓　　国		
Gun Woo Lee 2022年度	Yeungnam university college of medicine	昭和大学病院 整形外科
小　　計	1名	
ベトナム		
Duong Minh Le 2022年度	Can Tho Central General Hospital	徳島大学 整形外科
Xuan Minh Dang	University Medical Center HCMC	国立がん研究センター先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野
Quyen Thao Nguyen	Binh Dan Hospital	国立がん研究センター先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野
Anh Duc Nguyen	Hanoi Medical University Hospital	獨協医科大学 肝・胆・膵外科
小　　計	4名	
フィリピン		
Carlo Victorio Lizo Garcia	Philippine General Hospital	東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Alexander Jr Siao Ho	Chong Hua Hospital	亀田総合病院 スポーツ医学科
Julie Ann Tayaban Dulawan	Aaron's Surgical and Medical Clinic	和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座
Anthony Rivera Gerodias	Unihealth-Southwoods Hospital	九州大学病院 国際医療部
John Alfredo Raphael Perez Pangilinan	St. Luke's Medical Center	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座消化器内科学分野
小　　計	5名	

氏　　名	所　　属	研究機関
タ　　イ		
Laortip Rattanapittayaporn 2022年度	Prince of Songkla University	東京女子医科大学 麻酔科学
Kornchanok Thangnaphadol	Yala Hospital	東京女子医科大学 消化器病センター消化器・一般外科　肝胆膵外科
Chanont Kanokvaleewong	Phra Nakhon Sri Ayutthaya Hospital	東京スポーツ＆整形外科クリニック
Chomanad Chittchang	Queen Sirikit National Institute of Child Health	国立成育医療研究センター 放射線診療部
Chanida Cholwattanakul	Samutprakan Hospital	埼玉県立小児医療センター 麻酔科
Aekkarat Boonshua	Chiangrai Prachanukroh Hospital	埼玉県立小児医療センター 麻酔科
Chin Taweesomboonyat	Songklanagarind Hospital, Prince of Songkla University	大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経外科学教室
小　　計	7名	
インドネシア		
Nirwana Fitriani Walenna	Hasanuddin University	福岡大学医学部 微生物・免疫学講座
Ridho Ardhi Syaiful	Universitas Indonesia, Ciptomangunkusumo Hospital	東京女子医科大学 消化器・一般外科肝胆膵外科
Niken Adiba Nadya	Universitas Nahdlatul Ulama Surabaya (UNUSA)	東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻発達医科学分野
Yanuar Rahmat Fauzi	Miyazaki University	宮崎大学 フロンティア科学総合研究センター・先進医療開発研究プロジェクト
Steven Awyono	Prof. Dr. I.G.N.G. Ngoerah General Hospital	名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科学分野
小　　計	5名	
そ の 他		
Yahia Abbas Amin 2022年度　エジプト	Aswan University	京都大学医学部 泌尿器科学
George Kwaw Ainooson ガーナ	Kwame Nkrumah University of Science and Technology	長崎大学先端創薬イノベーションセンター
Nishchal Rijal ネパール	COVID-19 Unified Central Hospital (Bir Hospital)	東北大学医学部 整形外科学教室
Gihan Mohamed Ahmed Omar エジプト	Rheumatology& Rehabilitation, Minia University Hospital	東京大学医学部附属病院 リハビリテーション科・部
Yves Martial Nguekeu Mba カメルーン	University of Dschang, Faculty of Science	富山大学和漢医薬学総合研究所 資源開発研究部門天然物化学分野
Suheyla Ekemen トルコ	Acibadem University	東京大学医科学研究所 感染・免疫部門マラリア免疫学分野
Krishnaraj Jayaraman インド	Thyrocare Technologies Ltd.	国立がん研究センター研究所 基礎腫瘍学ユニット
Nabillo Erkin ugli Ibrokhimov ウズベキスタン	Republic Scientific Center of Emergency Medical Care of Uzbekistan	東京医科大学病院 脳神経外科
Mansoor Khan パキスタン	Burns & Plastic Surgery Center, Hayatabad Medical Complex	広島大学病院 国際リンパ浮腫治療センター
Andy Hsien Wei Koh マレーシア	Bond University	近畿大学医学部 法医学教室
Dilshod Muhammadvaliyevich Mamadaliev ウズベキスタン	Republican Scientific Practical Medical Center of Neurosurgery	名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科学分野
小　　計	11名	
合　　計	45名	

国/地域別外国人留学者数累計

2024/3/31現在
（来日ベース）

期間 / 国/地域	25ヵ月 &以上	24ヵ月 &以下	12ヵ月 &以下	6ヵ月 &以下	3ヵ月	3ヵ月 未満	合計	制度発足年
台　湾	22	52	115	61	320	3	573	1964
タ　イ		8	14	129	91		242	1966
フィリピン		6	16	118	42		182	1971
韓　国		4	113	19	4	1	141	1972
中　国		35	127	130			292	1981
インドネシア		11	24	63	87	3	188	1982
ベトナム			3	29	53	1	86	1998
アフガニスタン			1				1	
アメリカ		3			1		4	
アルバニア				1			1	
イギリス		1	1				2	
イタリー		1	3	1			5	
イラン			1				1	
インド		3	24	10	2		39	
ウズベキスタン			5				5	
エジプト			13	4	1	1	19	
オーストラリア			2				2	
ガーナ			1	1			2	
カザフスタン			1				1	
カナダ			2	1			3	
カメルーン			1				1	
ケニア			1	1			2	
コンゴ			1				1	
シリア			1				1	
スイス			1				1	
スエーデン			2				2	
セネガル				1			1	
チュニジア			1				1	
ドイツ		4	4	3			11	
トルコ			3	4		1	8	
ナイジェリア			2	2			4	
ニュージーランド				1			1	
ネパール			4	2			6	
パキスタン			3	1			4	
パラグアイ			1	2			3	
バングラデシュ			9	8	3		20	
ブラジル			2		1		3	
フランス		2	5	3	1		11	
ベネズエラ			1				1	
ベラルーシ			1				1	
ペ ル ー		1	1	2			4	
ベルギー				1			1	
マレーシア		1	2	1	1		5	
ミャンマー		1	1	3	3		8	
メキシコ		1					1	
モロッコ			1				1	
モンゴル				1			1	
ロシア		1	1			1	3	
合計	22	135	515	603	610	11	1,896	

別表（5）

医学部博士課程奨学助成者

2023年度　新規奨学助成者

氏　名	博士課程進学後の所属講座・教室
小林　新九郎	東京大学大学院医学系研究科 細胞分子薬理学分野
三村　海渡	東京大学大学院医学系研究科 がん細胞情報学分野
髙橋　瞭	東北大学大学院医学系研究科 AIフロンティア新医療創生分野
柘植　駿一	東北大学大学院医学系研究科 生物化学分野
畑　宗一郎	北海道大学大学院医学院 がん制御学教室
間　敬邦	九州大学大学院医学系学府 形態機能病理学分野
湊　隆文	九州大学大学院医学系学府 分子医科学分野
川口　駿	京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学
隈　宙音	京都大学大学院医学研究科 機能微細形態学
鈴木　智晴	京都大学iPS細胞研究所 山中伸弥研究室
春名　壮一朗	大阪大学大学院医学系研究科 ゲノム情報解析分野
山本　拓都	大阪大学大学院医学系研究科 脳生理学教室
齊木　颯	名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞化学
戸田　拓郎	名古屋大学大学院医学系研究科 神経遺伝情報学

14名

別表(6)

2023年度　海外研究留学者

氏名	所属機関	海外研究機関・受入責任者名
安藤　知史	医療法人社団幸隆会 多摩丘陵病院	Massachusetts General Hospital, USA Associate Prof. Dan G. Duda
木田　潤一郎	香川大学医学部附属病院	Cincinnati Children's Hospital Medical Center, USA Prof. Daniel Starczynowski
九野　宗大	京都大学大学院医学研究科 細胞機能制御学	Department of Radiation Oncology, New York University School of Medicine, USA Assistant Prof. Michael E. Pacold
庄司　聡	日野市立病院	Duke Clinical Research Institute, USA Prof. Sana Al-Khatib
竹内　力	慶應義塾大学 大学院医学研究科	University of Texas Southwestern Medical Center, USA Assistant Prof. Gary Hon
竹原　朋宏	慶應義塾大学病院 呼吸器内科	The University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA Chair and Prof. John V. Heymach
冨山　栄輔	大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学講座	The Vancouver Prostate Centre, the University of British Columbia, Canada Prof. Peter Black
藤田　あさひ	東京大学大学院医学系研究科	Massachusetts Eye and Ear, Harvard Medical School, USA Prof. David S. Friedman
水野　秀明	東京大学医学部附属病院	The University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA Prof. Michael Andreeff
横溝　陵	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座	Department of Biomedical Sciences, University of Pennsylvania School of Veterinary Medicine, USA Assistant Prof. Kotaro Sasaki

10名

The 11th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences

Excellent Poster Awardee

	Family Name	First Name	Institution	Abstract Title
Mr.	Torii	Kenji	Graduate School of Engineering, Osaka University	No-wash fluorogenic labeling of proteins for reversible photoswitching in live cell imaging
Ms.	Wang	Ziyi	The University of Tokyo	A novel cancer imaging strategy achieving high signal-to-noise ratio with a bio-orthogonal, engineered probe-reporter enzyme pair
Dr.	Xie	Lin	National Institutes for Quantum Science and Technology	Targeted alpha therapy with ^{211}At-AITM for mGluR1-positive human cancers
Dr.	Tay	Zhi wei	National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)	Magnetic bacteria inspired self-assembled in situ nanoparticle chains for Super-resolution Magnetic Particle Imaging
Dr.	Nakase	Ikuhiko	Osaka Metropolitan University	Targeted cytosolic delivery of biomacromolecules using cell-penetrating peptides and inkjet system for intracellular visualization and regulation

5名

貸借対照表

（2024年3月31日現在）

公益財団法人 武田科学振興財団　　（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1．流動資産			
現金預金	234,871,311	195,753,625	39,117,686
前払金	10,300,000	23,000,000	-12,700,000
流動資産合計	245,171,311	218,753,625	26,417,686
2．固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	23,923,594	15,816,244	8,107,350
投資有価証券	66,568,724,000	69,205,109,500	-2,636,385,500
図書資料	3,031,972,318	3,017,255,288	14,717,030
基本財産合計	69,624,619,912	72,238,181,032	-2,613,561,120
(2) 特定資産			
助成基金	16,476,167,227	16,985,130,323	-508,963,096
杏雨基金	241,069,558	248,636,558	-7,567,000
資産取得資金	278,981,000	268,337,000	10,644,000
寄附者指定特定基金	4,137,414,859	4,092,497,997	44,916,862
建物	104,545,344	109,250,562	-4,705,218
特定資産合計	21,238,177,988	21,703,852,440	-465,674,452
(3) その他固定資産			
建物	59,738,027	67,329,291	-7,591,264
什器備品	71,848,781	83,399,751	-11,550,970
ソフトウェア	27,692,610	18,997,474	8,695,136
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	159,329,418	169,776,516	-10,447,098
固定資産合計	91,022,127,318	94,111,809,988	-3,089,682,670
資産合計	91,267,298,629	94,330,563,613	-3,063,264,984
Ⅱ 負債の部			
1．流動負債			
未払金	7,244,787	11,936,104	-4,691,317
未払費用	1,650,869	1,162,556	488,313
預り金	2,405,767	1,790,178	615,589
流動負債合計	11,301,423	14,888,838	-3,587,415
2．固定負債			
役員退職慰労引当金	7,659,500	6,095,500	1,564,000
退職給付引当金	9,497,000	8,427,000	1,070,000
固定負債合計	17,156,500	14,522,500	2,634,000
負債合計	28,457,923	29,411,338	-953,415
Ⅲ 正味財産の部			
1．指定正味財産			
受贈投資有価証券	64,042,396,000	66,583,275,000	-2,540,879,000
基本財産受取配当金利息	4,560,301,391	4,505,492,717	54,808,674
指定正味財産合計	68,602,697,391	71,088,767,717	-2,486,070,326
（うち基本財産への充当額）	(64,361,121,075)	(66,887,403,045)	(-2,526,281,970)
（うち特定資産への充当額）	(4,241,576,316)	(4,201,364,672)	(40,211,644)
2．一般正味財産	22,636,143,315	23,212,384,558	-576,241,243
（うち基本財産への充当額）	(5,263,498,837)	(5,350,777,987)	(-87,279,150)
（うち特定資産への充当額）	(16,996,601,672)	(17,502,487,768)	(-505,886,096)
正味財産合計	91,238,840,706	94,301,152,275	-3,062,311,569
負債及び正味財産合計	91,267,298,629	94,330,563,613	-3,063,264,984

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団　　(単位：円)

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,787,268,921	2,736,431,729	50,837,192
基本財産受取配当金	2,761,587,326	2,710,348,262	51,239,064
基本財産受取利息	25,681,595	26,083,467	-401,872
特定資産運用益	526,093,703	515,661,468	10,432,235
特定資産受取配当金	479,385,504	468,964,080	10,421,424
特定資産受取利息	46,708,199	46,697,388	10,811
受取寄付金	70,000	50,000	20,000
受取寄付金	70,000	50,000	20,000
雑収益	16,580,016	8,598,361	7,981,655
受取利息	5,600	8,090	-2,490
返還助成金	16,574,416	8,590,271	7,984,145
経常収益計	3,330,012,640	3,260,741,558	69,271,082
(2) 経常費用			
事業費	3,208,982,027	3,191,816,890	17,165,137
武田報彰医学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
ハイリスク新興感染症研究助成金	100,000,000	100,000,000	0
生命科学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
医学系研究助成金	568,200,000	571,000,000	-2,800,000
薬学系研究助成金	100,000,000	95,000,000	5,000,000
ライフサイエンス研究助成金	101,000,000	97,000,000	4,000,000
特定研究助成金	500,000,000	500,000,000	0
ビジョナリーリサーチ助成金	192,000,000	172,000,000	20,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	21,000,000	21,000,000	0
杏雨書屋研究助成金	0	4,700,000	-4,700,000
外国人留学助成金	126,442,056	140,601,641	-14,159,585
医学部博士課程奨学助成	199,000,000	192,600,000	6,400,000
海外研究留学助成	167,020,000	154,520,220	12,499,780
武田医学賞褒賞金	40,000,000	60,000,000	-20,000,000
シンポジウムポスター褒賞金	2,500,000	2,500,000	0
助成金等費用	37,676,784	35,717,681	1,959,103
役員報酬	11,194,960	11,194,960	0
給料手当	37,042,233	35,380,326	1,661,907
役員退職慰労引当金繰入額	799,640	799,640	0
退職給付費用	730,000	675,000	55,000
福利厚生費	8,367,209	7,479,811	887,398
会議費	43,450,299	46,807,150	-3,356,851
旅費交通費	79,441,830	76,703,883	2,737,947
通信運搬費	4,945,023	5,215,701	-270,678
減価償却費	31,506,134	30,157,372	1,348,762
消耗品費	9,474,632	10,390,024	-915,392
修繕費	32,410,647	30,861,457	1,549,190
印刷製本費	39,493,098	46,271,398	-6,778,300
光熱水料費	2,985,313	3,351,766	-366,453
賃借料	52,174,588	53,023,447	-848,859
保険料	9,240,877	10,349,558	-1,108,681
諸謝金	11,054,032	10,401,144	652,888
委託費	68,970,694	64,477,678	4,493,016
租税公課	22,000	4,000	18,000
広報費	10,167,165	650,550	9,516,615
雑費	672,813	982,483	-309,670

管理費	95,345,613	48,926,668	46,418,945
役員報酬	13,189,645	13,047,040	142,605
給料手当	13,173,593	10,639,177	2,534,416
役員退職慰労引当金繰入額	764,360	764,360	0
役員退職金	200,000	600,000	-400,000
退職給付費用	340,000	520,000	-180,000
福利厚生費	4,235,831	4,791,751	-555,920
会議費	2,399,527	2,276,190	123,337
旅費交通費	2,184,271	2,384,428	-200,157
通信運搬費	421,600	434,649	-13,049
減価償却費	359,377	343,758	15,619
消耗品費	2,221,665	1,492,224	729,441
修繕費	74,712	34,644	40,068
印刷製本費	746,102	352,169	393,933
光熱水料費	1,990,211	2,132,944	-142,733
賃借料	3,984,366	3,161,390	822,976
保険料	142,027	132,082	9,945
会計監査報酬	2,200,000	2,200,000	0
委託費	5,429,324	2,922,232	2,507,092
広報費	40,700,000	0	40,700,000
雑　費	589,002	697,630	-108,628
経常費用計	3,304,327,640	3,240,743,558	63,584,082
評価損益等調整前当期経常増減額	25,685,000	19,998,000	5,687,000
基本財産評価損益等	-88,148,368	-49,419,117	-38,729,251
基本財産評価損益等	-88,148,368	-49,419,117	-38,729,251
特定資産評価損益等	-513,897,875	2,119,125,534	-2,633,023,409
特定資産評価損益等	-513,897,875	2,119,125,534	-2,633,023,409
評価損益等計	-602,046,243	2,069,706,417	-2,671,752,660
当期経常増減額	-576,361,243	2,089,704,417	-2,666,065,660
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	120,000	0	120,000
図書資料受贈益	120,000	0	120,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	120,000	0	120,000
当期一般正味財産増減額	-576,241,243	2,089,704,417	-2,665,945,660
一般正味財産期首残高	23,212,384,558	21,122,680,141	2,089,704,417
一般正味財産期末残高	22,636,143,315	23,212,384,558	-576,241,243
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2,816,396,000	2,755,170,000	61,226,000
基本財産受取配当金	2,816,396,000	2,755,170,000	61,226,000
特定資産運用益	43,768	42,133	1,635
特定資産受取利息	43,768	42,133	1,635
基本財産評価損益	-2,540,879,000	13,041,138,000	-15,582,017,000
基本財産評価損益	-2,540,879,000	13,041,138,000	-15,582,017,000
一般正味財産への振替額	-2,761,631,094	-2,710,390,395	-51,240,699
一般正味財産への振替額	-2,761,631,094	-2,710,390,395	-51,240,699
当期指定正味財産増減額	-2,486,070,326	13,085,959,738	-15,572,030,064
指定正味財産期首残高	71,088,767,717	58,002,807,979	13,085,959,738
指定正味財産期末残高	68,602,697,391	71,088,767,717	-2,486,070,326
Ⅲ　正味財産期末残高	91,238,840,706	94,301,152,275	-3,062,311,569

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引消去	合　計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ	本草医書発刊	本草医書公開	共　通	小　計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部											
1．　経常増減の部											
（1）　経常収益											
基本財産運用益	25,681,595	0	0	0	0	0	2,666,279,117	2,691,960,712	95,308,209		2,787,268,921
基本財産受取配当金							2,666,279,117	2,666,279,117	95,308,209		2,761,587,326
基本財産受取利息	25,681,595							25,681,595			25,681,595
特定資産運用益	523,277,904	0	0	0	0	2,771,977	12,018	526,061,899	31,804		526,093,703
特定資産受取配当金	479,385,504							479,385,504			479,385,504
特定資産受取利息	43,892,400					2,771,977	12,018	46,676,395	31,804		46,708,199
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
国宝重要文化財等保存整備費補助金							0	0	0		0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000	0		70,000
受取寄付金							70,000	70,000			70,000
雑収益	14,574,416	2,000,000	0	0	0	0	0	16,574,416	5,600		16,580,016
受取利息								0	5,600		5,600
返還助成金	14,574,416	2,000,000						16,574,416			16,574,416
経常収益計	563,533,915	2,000,000	0	0	0	2,771,977	2,666,361,135	3,234,667,027	95,345,613		3,330,012,640
（2）　経常費用											
事業費	2,326,875,458	548,506,612	66,809,469	87,640,910	19,637,407	159,511,001	1,170	3,208,982,027			3,208,982,027
武田報彰医学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
ハイリスク新興感染症研究助成金	100,000,000							100,000,000			100,000,000
生命科学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
医学系研究助成金	568,200,000							568,200,000			568,200,000
薬学系研究助成金	100,000,000							100,000,000			100,000,000
ライフサイエンス研究助成金	101,000,000							101,000,000			101,000,000
特定研究助成金	500,000,000							500,000,000			500,000,000
ビジョナリーリサーチ助成金	192,000,000							192,000,000			192,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	21,000,000							21,000,000			21,000,000
外国人留学助成金		126,442,056						126,442,056			126,442,056
医学部博士課程奨学助成		199,000,000						199,000,000			199,000,000
海外研究留学助成		167,020,000						167,020,000			167,020,000
武田医学賞褒賞金			40,000,000					40,000,000			40,000,000
シンポジウムポスター褒賞金				2,500,000				2,500,000			2,500,000
助成金等費用	26,600,000	1,750,000	2,250,000	90,000	0	6,986,784		37,676,784			37,676,784
役員報酬	4,379,200	2,365,580	981,820	437,920	218,960	2,811,480		11,194,960			11,194,960
給料手当	11,391,084	8,104,280	1,265,676	3,473,263	1,280,793	11,527,137		37,042,233			37,042,233
役員退職慰労引当金繰入額	312,800	168,970	70,130	31,280	15,640	200,820		799,640			799,640
退職給付費用	405,000	77,000	45,000	33,000	17,000	153,000		730,000			730,000
福利厚生費	1,860,410	1,408,366	797,319	1,408,366	0	2,892,748		8,367,209			8,367,209
会議費	11,685,194	3,831,460	8,260,621	18,419,826	0	1,253,198		43,450,299			43,450,299
旅費交通費	20,132,997	21,552,132	3,839,671	30,534,855	0	3,382,175		79,441,830			79,441,830
通信運搬費	1,385,802	216,149	40,419	75,132	1,422,361	1,805,160		4,945,023			4,945,023
減価償却費	5,591,605	1,407,433	359,377	359,377	359,377	23,428,965		31,506,134			31,506,134
消耗品費	3,293,863	1,213,885	2,137,956	555,417	0	2,273,511		9,474,632			9,474,632
修繕費	0	0	0	0	0	32,410,647		32,410,647			32,410,647
印刷製本費	15,912,786	337,825	1,652,444	124,688	12,535,265	8,930,070		39,493,098			39,493,098
光熱水料費	696,573	497,552	298,531	497,552	0	995,105		2,985,313			2,985,313
賃借料	3,086,412	3,034,978	2,955,190	2,971,334	2,947,934	37,178,740		52,174,588			52,174,588
保険料	5,425	2,778,528	5,425	5,425	5,425	6,440,649		9,240,877			9,240,877
諸謝金	4,570,039	1,042,410	883,162	1,509,783	746,178	2,302,460		11,054,032			11,054,032
委託費	26,372,060	5,039,177	799,442	24,610,242	76,454	12,073,319		68,970,694			68,970,694
租税公課	0	0	0	0	12,000	10,000		22,000			22,000
広報費	6,963,000	718,675	62,700	2,790	0	2,420,000		10,167,165			10,167,165
雑費	31,208	500,156	104,586	660	0	35,033	1,170	672,813			672,813

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

管理費									95,345,613		95,345,613
役員報酬									13,189,645		13,189,645
給料手当									13,173,593		13,173,593
役員退職慰労引当金繰入額									764,360		764,360
役員退職金									200,000		200,000
退職給付費用									340,000		340,000
福利厚生費									4,235,831		4,235,831
会議費									2,399,527		2,399,527
旅費交通費									2,184,271		2,184,271
通信運搬費									421,600		421,600
減価償却費									359,377		359,377
消耗品費									2,221,665		2,221,665
修繕費									74,712		74,712
印刷製本費									746,102		746,102
光熱水料費									1,990,211		1,990,211
賃借料									3,984,366		3,984,366
保険料									142,027		142,027
会計監査報酬									2,200,000		2,200,000
委託費									5,429,324		5,429,324
広報費									40,700,000		40,700,000
雑費									589,002		589,002
経常費用計	2,326,875,458	548,506,612	66,809,469	87,640,910	19,637,407	159,511,001	1,170	3,208,982,027	95,345,613		3,304,327,640
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,763,341,543	-546,506,612	-66,809,469	-87,640,910	-19,637,407	-156,739,024	2,666,359,965	25,685,000	0		25,685,000
基本財産評価損益等	-88,148,368							-88,148,368			-88,148,368
基本財産評価損益等	-88,148,368							-88,148,368			-88,148,368
特定資産評価損益等	-506,321,516					-7,576,359		-513,897,875			-513,897,875
特定資産評価損益等	-506,321,516					-7,576,359		-513,897,875			-513,897,875
評価損益等計	-594,469,884					-7,576,359		-602,046,243			-602,046,243
当期経常増減額	-2,357,811,427	-546,506,612	-66,809,469	-87,640,910	-19,637,407	-164,315,383	2,666,359,965	-576,361,243	0		-576,361,243
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計						120,000		120,000	0		120,000
図書資料受贈益						120,000		120,000	0		120,000
(2) 経常外費用											
経常外費用計								0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	120,000	0	120,000	0		120,000
当期一般正味財産増減額	-2,357,811,427	-546,506,612	-66,809,469	-87,640,910	-19,637,407	-164,195,383	2,666,359,965	-576,241,243	0		-576,241,243
一般正味財産期首残高											23,212,384,558
一般正味財産期末残高											22,636,143,315
Ⅱ 指定正味財産増減の部											
基本財産運用益							2,522,916,000	2,522,916,000	293,480,000		2,816,396,000
基本財産受取配当金							2,522,916,000	2,522,916,000	293,480,000		2,816,396,000
特定資産運用益							12,018	12,018	31,750		43,768
特定資産受取利息							12,018	12,018	31,750		43,768
基本財産評価損益							-2,276,109,000	-2,276,109,000	-264,770,000		-2,540,879,000
基本財産評価損益							-2,276,109,000	-2,276,109,000	-264,770,000		-2,540,879,000
一般正味財産への振替額							-2,666,291,135	-2,666,291,135	-95,339,959		-2,761,631,094
一般正味財産への振替額							-2,666,291,135	-2,666,291,135	-95,339,959		-2,761,631,094
当期指定正味財産増減額								-2,419,472,117	-66,598,209		-2,486,070,326
指定正味財産期首残高											71,088,767,717
指定正味財産期末残高											68,602,697,391
Ⅲ 正味財産期末残高											91,238,840,706

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

（単位：円）

科　　目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	6,095,500	1,564,000	0	0	7,659,500
退職給付引当金	8,427,000	1,070,000	0	0	9,497,000

キャッシュ・フロー計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団　　(単位：円)

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　事業活動によるキャッシュ・フロー			
1．事業活動収入			
基本財産運用収入	2,841,241,571	2,780,590,150	60,651,421
配当金収入	2,816,396,000	2,755,170,000	61,226,000
利息収入	24,845,571	25,420,150	-574,579
特定資産運用収入	528,725,924	518,293,690	10,432,234
配当金収入	479,385,504	468,964,080	10,421,424
利息収入	49,340,420	49,329,610	10,810
寄付金収入	70,000	50,000	20,000
雑収入	16,580,016	8,598,361	7,981,655
利息収入	5,600	8,090	-2,490
返還助成金	16,574,416	8,590,271	7,984,145
事業活動収入計	3,386,617,511	3,307,532,201	79,085,310
2．事業活動支出			
研究助成事業支出	2,320,366,831	2,288,072,664	32,294,167
奨学助成事業支出	538,958,606	563,333,836	-24,375,230
武田医学賞褒賞事業支出	66,258,313	86,892,336	-20,634,023
国際シンポジウム事業支出	86,969,326	66,374,521	20,594,805
本草医書発刊事業支出	19,243,807	30,712,190	-11,468,383
本草医書公開事業支出	135,468,660	133,248,655	2,220,005
公益目的事業共通費支出	1,170	330	840
管理費支出	93,362,025	49,207,833	44,154,192
事業活動支出計	3,260,628,738	3,217,842,365	42,786,373
事業活動によるキャッシュ・フロー	125,988,773	89,689,836	36,298,937
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー			
1．投資活動収入			
基本財産取崩収入	0	0	0
基本財産普通預金収入	0	0	0
基本財産投資有価証券償還収入	0	0	0
特定資産取崩収入	1,196,489,680	301,789,315	894,700,365
特定資産普通預金収入	586,892,650	139,190,800	447,701,850
特定資産投資有価証券償還・売却収入	595,000,000	140,000,000	455,000,000
特定資産寄附者指定特定基金取崩収入	14,597,030	22,598,515	-8,001,485
投資活動収入計	1,196,489,680	301,789,315	894,700,365
2．投資活動支出			
基本財産取得支出	14,597,030	22,598,515	-8,001,485
基本財産普通預金支出	0	0	0
基本財産投資有価証券取得支出	0	0	0
図書資料取得支出	14,597,030	22,598,515	-8,001,485
特定資産取得支出	1,252,050,542	339,361,756	912,688,786
特定資産普通預金支出	595,000,000	140,000,000	455,000,000
特定資産投資有価証券取得支出	586,892,650	139,190,800	447,701,850
特定資産資産取得資金取得支出	10,644,000	10,644,000	0
特定資産寄附者指定特定基金取得支出	59,513,892	49,526,956	9,986,936
固定資産取得支出	16,713,195	13,311,650	3,401,545
建物購入支出	0	2,970,000	-2,970,000
什器備品購入支出	635,815	4,722,850	-4,087,035
ソフトウェア購入支出	16,077,380	5,618,800	10,458,580
投資活動支出計	1,283,360,767	375,271,921	908,088,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	-86,871,087	-73,482,606	-13,388,481
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー			
1．財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2．財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
Ⅳ　現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
Ⅴ　現金及び現金同等物の増減額	39,117,686	16,207,230	22,910,456
Ⅵ　現金及び現金同等物の期首残高	195,753,625	179,546,395	16,207,230
Ⅶ　現金及び現金同等物の期末残高	234,871,311	195,753,625	39,117,686

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①その他有価証券 (時価のあるもの)	期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっている。

(2) 固定資産の減価償却方法

①建物	定額法によっている。
②什器備品	定額法によっている。
③ソフトウェア	定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①役員退職慰労引当金	役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上している。
②退職給付引当金	職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。

(4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金の範囲には、手元現金及び随時引き出し可能な預金を含めている。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	15,816,244	8,107,350	0	23,923,594
投資有価証券	69,205,109,500	0	2,636,385,500	66,568,724,000
図書資料	3,017,255,288	14,717,030	0	3,031,972,318
小計	72,238,181,032	22,824,380	2,636,385,500	69,624,619,912
特定資産				
助成基金	16,985,130,323	0	508,963,096	16,476,167,227
杏雨基金	248,636,558	0	7,567,000	241,069,558
資産取得資金	268,337,000	10,644,000	0	278,981,000
寄附者指定特定基金	4,092,497,997	59,513,892	14,597,030	4,137,414,859
建物	109,250,562	0	4,705,218	104,545,344
小計	21,703,852,440	70,157,892	535,832,344	21,238,177,988
合計	93,942,033,472	92,982,272	3,172,217,844	90,862,797,900

(注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期減少額は株式の時価評価損、その他債券の時価評価損及び償却原価等である。

2. 特定資産の助成基金の当期減少額は株式の時価評価損、その他債券の時価評価損及び償却原価等である。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
現金預金	23,923,594	(0)	(23,923,594)	(0)
投資有価証券	66,568,724,000	(64,042,396,000)	(2,526,328,000)	(0)
図書資料	3,031,972,318	(318,725,075)	(2,713,247,243)	(0)
小計	69,624,619,912	(64,361,121,075)	(5,263,498,837)	(0)
特定資産				
助成基金	16,476,167,227	(0)	(16,476,167,227)	(0)
杏雨基金	241,069,558	(0)	(241,069,558)	(0)
資産取得資金	278,981,000	(0)	(278,981,000)	(0)
寄附者指定特定基金	4,137,414,859	(4,137,030,972)	(383,887)	(0)
建物	104,545,344	(104,545,344)	(0)	(0)
小計	21,238,177,988	(4,241,576,316)	(16,996,601,672)	(0)
合計	90,862,797,900	(68,602,697,391)	(22,260,100,509)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物	166,165,775	61,620,431	104,545,344
その他固定資産			
建物	182,965,183	123,227,156	59,738,027
什器備品	325,695,329	253,846,548	71,848,781
ソフトウェア	92,860,917	65,168,307	27,692,610
合計	767,687,204	503,862,442	263,824,762

5. 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源を受取配当金、受取利息によって賄うため、安全性の高い有価証券び定期預金等により資産運用している。なお、投機目的の取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びリスク

有価証券は、主に公社債及び寄附者からの出損・増資により保有する株式であり、配当方針、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されている。

定期預金は、預入先の信用リスクに晒されているが、預入先は信用度の高い銀行である。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①金融商品の取引は、当法人の資金運用規則に基づき行っている。

②信用リスクの管理

有価証券については、発行体の財務状況や格付機関による格付状況を定期的に把握し、理事会等に報告している。

③市場リスクの管理

有価証券については、時価を定期的に把握し、理事会等に報告している。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内　　容	金　　額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金（目的達成による指定解除額）	2,756,882,108
基本財産受取配当金（減価償却費計上による振替額）	4,705,218
特定資産受取利息（目的達成による指定解除額）	43,768
合　　計	2,761,631,094

7. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

（単位：円）

前　　期　　末		当　　期　　末	
現金預金勘定	195,753,625	現金預金勘定	234,871,311
預入期間が３ヶ月を超える定期預金	0	預入期間が３ヶ月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	195,753,625	現金及び現金同等物	234,871,311

(2) 重要な非資金取引は以下のとおりである。

前　　期　　末	当　　期　　末
－	－

財　産　目　録

２０２４年３月３１日現在

公益財団法人 武田科学振興財団　　(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			234,871,311
現金	手元保管	運転資金として	148,891
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	〃	39,904,064
普通預金	三井住友銀行十三支店	〃	194,818,356
前払金			10,300,000
前払金	三井住友海上火災保険	外国人留学研究者対象　海外旅行保険包括契約　前払金	300,000
前払金	海外研究留学者	海外研究留学助成金前払金	10,000,000
流動資産合計			245,171,311
(固定資産)			
基本財産			69,624,619,912
現金預金			23,923,594
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	23,923,594
投資有価証券			66,568,724,000
株式	(武田薬品㈱15,306,500株)		64,042,396,000
公益目的事業会計	13,711,500株	89.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。	57,368,916,000
法人会計	1,595,000株	10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している。	6,673,480,000
公社債		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	2,526,328,000
その他債券	第131回利付国債(20年)		271,925,000
	第10回利付国債(30年)		104,170,000
	第11回利付国債(30年)		262,728,000
	第143回利付国債(20年)		162,765,000
	第151回利付国債(20年)		417,240,000
	第152回利付国債(20年)		104,190,000
	第155回利付国債(20年)		142,240,000
	第157回利付国債(20年)		367,720,000
	第181回利付国債(20年)		454,377,000
	第187回利付国債(20年)		238,973,000
図書資料		公益目的保有財産であり、本草医書公開事業に供している不可欠特定財産である。	3,031,972,318
		(公益認定前取得額合計)	2,041,811,323
	本草関係書類	(故) 武田長兵衛氏　寄贈　2,488部	409,230,000
	東洋学善本	(故) 武田長兵衛氏　寄贈　1,337部	570,816,000
	本草・医書・関係書籍	武田薬品工業㈱　寄贈　16,586部	339,860,500
	医家墨蹟類	武田薬品工業㈱　寄贈　589点	23,745,000
	医療器具類	武田薬品工業㈱　寄贈　150点	3,700,000
	武田家文書	武田家　寄贈　2,396部	232,500
	村上文書	武田家　寄贈（書状5,000通含）　909部	8,990,000
	洗心文庫追加	武田家　寄贈　195部	154,935,000
	羽田文庫	武田家　寄贈　758部	62,000,000
	医書関係書籍	1978年度購入阿知波文庫　1333部	8,665,350
	医書関係書籍	1991年度購入　4部	1,313,250
	半井家本医心方	1992年度購入　8部	236,900
	Siebold's Florilegium ofJapanese Plants	1994年度購入　5部	937,300
	宋版　経史證類備急本草	1997年度購入　5部	203,940
	中薬大辞典	1999年度購入　5部	308,700
	本草図譜	1999年度購入　1部	506,520
	東洋医学書善本叢書	2000年度購入　20冊	681,345
	本草肉摺	2000年度購入　4帙23冊	8,925,000
	黄帝内経素問諺解他	〃　29冊	873,600
	医心方続編	2000年度購入　12冊	488,250
	萬金産業袋	2001年度購入　5冊	189,000
	中国本草全書	2001～2002年度購入　411冊	8,908,333
	金陵本　本草綱目	2002年度購入　7	236,250
	「蘭」川澄理三郎彩色肉筆画	2002年度購入　109枚	1,260,000
	BOTANICAL CABINET	〃　20冊2000枚	4,725,000
	HOOKER'S EXOTIC FLORA	〃　3冊233枚	892,500
	THE BOTANICAL REGISTER	2003年度購入　34冊	7,875,000
	鴻寶秘要抄	〃　1冊	682,500
	続添鴻宝秘要抄抜書	〃　1冊	262,500
	江馬榴園書状集	2003年度購入　1冊	357,710
	衍義本草	2004年度購入　21冊	9,450,000
	医方大成	〃　5冊	2,100,000
	医林類証集要	〃　20冊	4,200,000
	世医得効方	〃　20冊	4,200,000
	植物誌カザナテンセ図書館蔵本ファクシミリ版	2005年度購入　1冊	1,197,000
	補遺雷公炮製便覧	〃　13冊	350,000

		東洋医学雑誌復刻彙書	〃	8冊	257,250
		常陸文庫	〃	571部	74,970,000
		Grondbeginselen der scheikunde door A. L. Lavoisier	2006年度購入	1部	2,200,000
		長崎西家由緒書	〃	1冊	252,000
		野間玄琢書状	〃	1冊	170,000
		奈須玄虫・玄竹書状集	〃	1冊	420,000
		帆足万里書状	〃	1冊	252,000
		権田直助書状集	〃	1冊	220,000
		ヘボン氏手術図以下	2007年度購入	126点	22,050,000
		キニホフ植物印影図譜	〃	1冊	4,200,000
		本草品彙精要写本	〃	6冊	367,500
		松木文庫	2008年度購入	207点	126,000,000
		一神論・序聴迷詩所経	〃	2巻	577,500
		曲直瀬道三自筆啓迪集	〃	2冊	7,000,000
		森鷗外書簡巻	〃	1通	1,400,000
		ベルセリウス：化学教書	〃	6冊	660,000
		エウスタキオ画：解剖図表	〃	1冊	450,000
		森鷗外自筆書簡	2009年度購入	1通	1,489,000
		香薬抄	〃	1冊	7,896,000
		小関仁一郎書簡巻	〃	1巻	300,000
		Molecular Structure of Nucleic Acids, Nature 171:1～3. 1953 Watson JD and Crick FHC他	〃	19冊	15,579,900
		二宮文庫	〃	268点	52,500,000
		医方考	2010年度4月～11月購入	6冊	4,800,000
		意伝鈔	〃	1冊	360,000
		ローベル：草木誌	〃	1冊	2,173,500
		ラナウ：博物陳列室	〃	1冊	282,555
		ショメル：家政事典 初版（ﾌﾗﾝｽ語）	2010年度4月～11月購入	1冊	724,500
	図書資料	田中彌性園文庫	〃	700点	65,724,750
		沢庵宗彭自筆刺針要致	〃	1巻	1,260,000
		配済録他	〃	3冊	1,462,960
		医心方提要他	〃	13冊	2,276,960
			（以上、公益認定前取得）		
			（以下、公益認定後取得）		
			（公益認定後取得額合計）		990,160,995
		方薬順次要	2010年度1月購入	3冊	262,500
		lennec Stethoscope. c. 1819	2010年度1月購入	1冊	1,575,000
		森鷗外草稿	2011年度購入	2冊	615,980
		石原保秀文庫	2011年（財）日本漢方医学研究所より寄附	2384冊	44,231,250
		新編俗解八十一難経図要	2011年度購入	1冊	1,200,000
		解剖学闢訳初版	〃	1冊	6,500,000
		小曽戸文庫	〃	1802点	261,092,470
		Ontleding des Menschelyken	〃	1冊	1,995,000
		外科学入門	〃	1冊	367,500
		トーマス・パルトリン「解剖学」	〃	1冊	262,500
		師弟問答	〃	1冊	4,500,000
		曲直瀬道三書状	〃	1冊	650,000
		合薬直伝集	〃	1冊	350,000
		岡本玄治書状	〃	1部	157,500
		方肥剤	〃	1冊	340,980
		古医書写本	〃	9冊	560,980
		医学正伝	〃	8冊	945,980
		證類本草序列	〃	1冊	2,250,000
		ｼｮﾒﾙ：日用百科事典	2012年度購入	16冊	1,575,000
		ﾊｳﾄｯｲﾝ：リンネの体系にもとづく自然誌	〃	37冊	2,100,000
		ﾏﾙﾁﾈｯﾄ：自然の教理問答	〃	4冊	81,900
		ﾊﾞｽﾀｰ：科学の楽しみ	〃	1冊	441,000
		ｼｭﾌﾞﾚﾝｹﾞﾙ：植物学入門	〃	3冊	126,000
		ｼﾞｬｸｲﾝ：植物学入門	〃	1冊	79,800
		ﾃﾞｨｵﾆｽ：王立植物園での実演による血液循環および新発見に基づく人体の解剖	〃	1冊	56,133
		橋林高秀静山、建吉巨梅、宗建和山、高連峡山像	〃	4幅対	100,000
		浅田栗園先生母堂栗園宛消息	〃	4通	85,000
		鈴木松塘・菜蘭　浅田栗園宛書簡他	〃	26通	250,000
		長崎医師笠戸正胤・西道仙　浅田栗園宛書簡他	〃	10通	200,000
		名家書簡	〃	46通54紙	2,625,000
		ﾏﾙﾃｨﾝ：哲学教師または現代実験自然学概説	〃	1冊	94,500
		医学正伝	〃	8冊	7,500,000
		奥田・藤平文庫	〃	668点	13,760,460
		古文孝経	〃	1巻	12,055,970
		神農皇帝真伝灸図	〃	1冊	285,990
		校正本　救荒本草・救荒野譜	〃	3冊	395,990
		草之名集　秋之部	〃	1冊	175,990
		新刊　大観本草	〃	20冊	1,759,990
		日本植物図譜	〃	1冊	1,088,990
		察病指南	〃	1冊	285,990
		意伝普救録	〃	1冊	285,990
		節斎漫録	〃	3冊	2,210,990

		大成論抄	〃	1冊	340,990
		禽獣魚介蟲図譜	〃	4冊	1,759,990
		医家本草家書状	〃	1巻	420,000
		大塚修琴堂文庫	〃	2985点	139,987,890
		中西深斎　尺牘	2013年度購入	1軸	380,000
		曲直瀬道三自筆所持本　醫方大成論・宜禁本草	〃	2冊	9,000,000
		素問入式運気論奥	〃	1冊	3,500,000
		重修政和経史證類備用本草（巻十五～十七）	〃	1冊	252,000
		吉雄幸作・俊蔵書簡	〃	1巻	420,000
		江馬春齢・蘭斎書簡	〃	1巻	330,000
		ターヘル・アナトミア	〃	1冊	290,200
		日本医史学会文庫	〃	38点	7,980,500
		大阪華岡塾合水堂文庫	〃	319点	42,765,760
		レメリン「小宇宙図譜」ラテン語＆オランダ語　第3版	2014年度購入	1冊	1,296,000
		刈谷藩士本草学者宍戸昌 自筆文書	〃	12冊	525,000
		伊藤（圭介・延吉・篤太郎）家伝来文書	〃	9幅	5,450,000
		射駒山観花書画	〃	1巻	270,000
		蘭畹摘芳草稿	〃	1冊	1,700,000
		大阪華岡塾合水堂文庫	〃	12点	20,422,500
		本間玄調肖像	〃	1幅	315,000
		ニーランド「ネーデルラント薬用草木誌」	2015年度購入	1冊	540,000
		クルムス「ターヘル・アナトミア」	〃	1冊	3,078,000
		難波抱節自筆稿本・旧蔵写本・版本一括	〃	21冊	367,500
		二十八宿三徴垣並星象畧図	〃	1冊	84,000
		家宝全書・清嘉録・医謬正俗難波抱節自筆本	〃	7冊	148,500
		解体新書	〃	5冊	4,000,000
		古文孝経	〃	1冊	8,500,000
		玉機微義	〃	12冊	6,500,000
		杉立文庫	〃	26点	5,990,560
	図書資料	古訓医伝薬能方法辨	〃	5冊	36,750
		傷寒論国字辨	〃	1冊	31,500
		傷寒論辨正	〃	1冊	15,750
		傷寒外伝	〃	1冊	42,000
		五書剔髄	〃	1冊	63,000
		傷寒論讃	〃	6冊	15,750
		傷寒論特解	〃	1冊	73,500
		家刻傷寒論	〃	1冊	63,000
		傷寒貫珠集	〃	1冊	73,500
		喩嘉言先生傷寒尚論篇全書	〃	1冊	63,000
		金匱正辨	〃	1冊	10,500
		傷寒論劉氏伝	〃	1冊	15,750
		傷寒論輯義	〃	1冊	94,500
		傷寒論大意	〃	1冊	31,500
		キニホフ「Botanica in Originali Pharmaceutica.」	〃	1冊	997,207
		温知堂文庫	〃	619点	19,440,000
		解体新書	〃	5冊	3,591,000
		経史證類大観本草	〃	25冊	1,200,000
		本間玄調松延定雄（松延年）往復書簡・青山延光本間玄調宛書簡	2016年度購入	2巻	210,000
		千魚一覧録	〃	1冊	31,500
		小曽戸文庫	〃	632点	80,935,050
		スメリー「産科学解剖図録」	〃	1冊	1,404,000
		時還読我書捷見	〃	1冊	270,000
		参製口訣稿本　二種	〃	2冊	270,000
		宋本素問版心文字録	〃	1冊	162,000
		遊仙窟	〃	1冊	270,000
		劉向新序　十巻	〃	2冊	432,000
		素女妙論	〃	1冊	64,800
		素女妙論	〃	1冊	37,800
		黄素之妙論	〃	1冊	129,600
		黄素妙論	〃	1冊	129,600
		釋糸付釋麻	〃	1冊	210,000
		東大寺古文書	〃	1幅	105,000
		多紀元簡自画像	2017年度購入	1幅	70,000
		医心方	〃	30冊	3,240,000
		三医聖画像（三幅対）	〃	3幅	54,000
		黄帝秘要良方	〃	1冊	270,000
		扁鵲倉公列伝割解	〃	1冊	162,000
		傷寒論述義	〃	1冊	378,000
		薬雅	〃	1冊	194,400
		新刊京本活人心法	〃	1冊	486,000
		増修無寃録大全	〃	1冊	216,000
		医学院学範 第一編三巻	〃	3冊	31,500
		温疫論	〃	2冊	8,400
		温疫論私評	〃	2冊	36,750
		華氏解剖摘要九巻	〃	2冊	42,000
		金鶏医談	〃	1冊	31,500
		種痘傳習録	〃	1冊	31,500

		内科新説	〃	3冊	6,300
		博物新編 三刻	〃	3冊	5,250
		京都典薬寮医師大野家旧蔵資料	〃	一括	840,000
		杉田玄白肖像画	〃	1幅	20,000
		神農像	〃	1幅	80,000
		神農像 附肖像木版画	〃	2幅	150,000
		ルードヴィヒ「植物学講義」初版	〃	1冊	248,400
		嘗一学士入余門云々	〃	1軸	550,000
		伊藤圭介葉書・書状	2018年度購入	一括	150,000
		長井長義朝鮮視察時写真帖	〃	1冊	105,000
		察病指南 室町中期刊 五山版	〃	1冊	10,800,000
		羽田文庫	〃	116点	40,503,750
		察病指南	〃	1冊	126,000
		養生月覧	〃	1冊	63,000
		香川修徳書状	〃	1通	30,240
		富士川游書	〃	1幅	108,000
		列仙傳巻物（小曽戸文庫追加）	小曽戸 洋 氏 寄贈	2巻	2,835,000
		神農図 月偃画	2019年度購入	1幅	48,600
		三医神像	〃	1幅	108,000
		神農像 楳同斉筆	〃	1幅	84,240
		張仲景像 吉益北洲画并題	〃	1幅	130,600
		新宮涼閣コレラ病詩	〃	1幅	62,640
		北山寿安医事消息	〃	1幅	175,987
		京都医塾有功館門人姓名録並由緒書	〃	1組	153,986
		月偃画 三国志治療之図	〃	1幅	175,987
		ヨンケル「瑞穂草」	〃	3冊	183,600
		ショイベ「日本における病気の臨床所見」	〃	1冊	64,800
		ショイベ 「日本人の脚気」	〃	1冊	84,240
		田代玄快肖像画幅	〃	1幅	28,000
		増地長喬肖像画幅	〃	1幅	4,400
	図書資料	増地長喬肖像画幅	〃	1幅	3,600
		切紙下巻	〃	1冊	32,000
		浅田宗伯書簡	〃	1通	220,000
		頼松庵肖像画幅	〃	1幅	20,000
		スメリー「産科論」初版	〃	1冊	594,000
		新刊万病回春	〃	5冊	1,660,983
		大坂狭山藩医笠原玄策・浅田宗伯他書簡	〃	1巻	725,987
		ツュンベリー「ヨーロッパ、アフリカ、アジア旅行記 1770-1779年」	〃	4冊	682,000
		延寿帯効用略記	〃	1冊	8,900
		矢数家所蔵温知社及び浅井家遺品	〃	37点	9,555,000
		結髪居別集序	〃	1巻	220,000
		神農像掛軸（小曽戸文庫追加）	小曽戸 洋 氏 寄贈	4幅	698,250
		各務小木骨	2020年度購入	一括	7,700,000
		カウパー「人体解剖図説」ラテン語初版 1739年ライデン刊	〃	1冊	1,650,000
		椿庭随筆	〃	1冊	88,000
		古方類按	〃	3冊	715,000
		学晦堂医話	〃	2冊	220,000
		瘍科広要 巻之一	〃	1冊	495,000
		内科闡微私評	〃	1冊	275,000
		結髪居別集 巻三・四	〃	1冊	385,000
		医範提綱内象銅版図	〃	1冊	395,980
		病草紙	〃	1巻	385,000
		オスカンプ等篇「薬用植物図譜」全6巻 蘭訳版初版 1796-1800年	〃	6冊	1,430,000
		丸亀尾池家医学関係資料	〃	9幅1冊	4,614,750
		矢数文庫	〃	54点	37,059,750
		敦煌莫高窟秘本一神論残巻	〃	1冊	198,000
		貴目帖	2021年度購入	1帖	495,000
		仁斎直指	〃	7冊	4,630,983
		寒窓哈噺	〃	2冊	230,989
		瓊桃集	〃	1冊	340,988
		黄帝内経太素	〃	1巻	49,500,000
		延寿類要	〃	1冊	935,000
		濬本医説抄録	〃	1冊	38,500
		神農図 延寿院橘玄澗画讃	〃	1幅	110,000
		福井棣園（晋）遠雁余声五言律詩	〃	1幅	41,800
		ヨンストン「動物図説」蘭語版・初版 1660年	〃	1冊	2,420,000
		長野文庫	〃	28点	5,281,500
		読書漫録	〃	3冊	450,980
		多紀元堅	〃	1幅	151,000
		漫遊雑記 巻上	〃	1冊	38,500
		医嘘 欠有	〃	4冊	495,000
		成章堂家蔵方	〃	1冊	71,500
		栗園日抄	〃	1冊	66,000
		栗園録稿并掌記 二	〃	1冊	385,000
		読書漫録 巳	〃	1冊	220,000
		ロッテルダム薬局方第3版1736年	〃	1冊	242,000
		浅田恭悦書簡	〃	1通	13,000
		森立之書簡	〃	1通	84,000
		プラッハ「ベルギー薬局方の調剤帳」初版 1829年	〃	1冊	242,000
		和智新妻文庫医学関係書	〃	一括	539,170
		和智・新妻文庫	2022年度購入	263点	10,783,500
		瘟疫論刊誤 巻四	〃	1冊	330,000

		延寿院家丸散方・山科家丸散方	〃	2巻	153,988
		栗園膏稿	〃	1冊	593,985
		浅田宗伯伝記（付中野康章身上資料）	〃	6冊(付1冊2枚)	285,987
		神農像刀剣柄頭	〃	1組	316,500
		当流酬医頓得	〃	1冊	192,585
		恵徳方　巻三上	〃	1冊	170,385
		ライレッセ「大画法書」（蘭語版）1740年	〃	洋1冊	220,000
		傷寒論拆義　五冊・皇朝医叢続篇　一冊	〃	6冊	454,989
		刀暇録	〃	4冊	888,000
		神農本経記聞	〃	3冊	300,699
		曲直瀬玄鑑書状	〃	1幅	333,000
		曲直瀬玄渭書状	〃	1幅	333,000
		小野蘭山書状	〃	1通	322,998
		福井恒斎書幅	〃	1幅	222,111
		本草関係写本	〃	32冊一括	454,989
		中野康章資料	〃	1箱一括	367,299
		医心方	〃	19冊	4,400,000
		ゴルテル「新精選外科学」（蘭訳・第3版）1762年	〃	1冊	363,000
		格致餘論鈔　全五巻	〃	5冊	100,000
		升汞丹製法秘伝	〃	1冊	25,000
		浅田宗伯書幅	〃	2幅	170,000
		神農図	〃	1幅	63,000
		三好退蔵書簡巻　佐伯理一郎宛4通	〃	1巻	70,000
		司馬凌海書幅	〃	1幅	73,500
		白澤図	〃	1幅	60,000
		ウィンスロウ「人体構造の記述解剖学」初版　1732年　パリ刊	〃	洋1冊	550,000
		養寿院秘録	2023年度購入	1冊	21,000
		曲直瀬道三書簡	〃	1通	308,000
		丹渓心法大全	〃	4冊	2,212,210
		曲直瀬道三書状	〃	1通	385,000
	図書資料	耆宿茗話	〃	1冊	198,000
		大槻玄沢書状	〃	1通	400,000
		福原五岳画張仲景像	〃	1軸	45,000
		切紙　曲直瀬玄鑑奥書古写本	〃	1冊	1,155,000
		後藤艮山手簡と山脇東洋識語	〃	1幅	280,000
		浅田宗伯筆　水志序	〃	1幅	200,000
		片倉玄周七絶書幅	〃	1幅	150,000
		森立之詩幅	〃	1幅	150,000
		図南先生新論	〃	1冊	31,500
		上清紫庭追労仙方論法	〃	1冊	21,000
		越児実幾経験書 巻二、三	〃	2冊	10,500
		神遺方発揮 巻之上	〃	1冊	21,000
		痘家摘要	〃	1冊	42,000
		間窓偶筆	〃	1冊	21,000
		北里文太郎自筆資料	〃	12点	40,000
		入澤達吉マクリ	〃	1枚	10,500
		坂上元丈書状	〃	1通	15,000
		文政12年年始差出諸用文書控	〃	1冊	40,000
		大阪市中賣薬店数望	〃	1枚	22,000
		尾張名所図会 前編・後編	〃	13冊	120,000
		越俎薬誌	〃	1冊	346,320
		中山玄亭自筆（北辰妙見宮）御袖専	長野　仁 氏　寄贈	1巻	15,000
		中山玄亭書簡	〃	3通	15,000
		小匙	小曽戸 洋 氏 寄贈	3点	90,000
		相模和田文庫	2023年度購入	231点	8,352,000
特定資産					21,238,177,988
	助成基金				16,476,167,227
	普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		31,254,723
	定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		800,000,000
	投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。		15,644,912,504
	株式	武田薬品㈱ 2,605,356株			10,900,809,504
	公社債				4,744,103,000
	その他債券	第11回利付国債(30年)			164,205,000
		第137回利付国債(20年)			218,280,000
		第139回利付国債(20年)			650,100,000
		第141回利付国債(20年)			218,600,000
		第148回利付国債(20年)			429,880,000
		第149回利付国債(20年)			107,430,000
		第151回利付国債(20年)			312,930,000
		第152回利付国債(20年)			208,380,000
		第155回利付国債(20年)			101,600,000
		第157回利付国債(20年)			275,790,000
		第8回東京電力パワーグリッド債			200,340,000
		第25回東京電力パワーグリッド債			200,760,000
		第39回東京電力パワーグリッド債			99,950,000
		第515回関西電力債			198,320,000
		第484回九州電力債			97,800,000
		第489回九州電力債			391,200,000
		第404回中国電力債			296,610,000
		第227回神奈川県公募公債			89,658,000
		第471回大阪府公債			385,160,000

		北海道令和2年度第21回公募公債		48,865,000
		広島県令和3年度第5回公募公債		48,245,000
	杏雨基金			241,069,558
	普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	1,432,558
	公社債			239,637,000
	その他債券	第152回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	
	資産取得資金			278,981,000
	現金預金	公益目的事業会計	公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	273,561,000
	現金預金	法人会計	管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	5,420,000
	寄附者指定特定基金			4,137,414,859
	現金預金	公益目的事業会計	公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。	1,132,307,772
	現金預金	法人会計		3,005,107,087
	建物	公益目的事業会計		104,545,344
		新南館書庫	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	104,545,344
その他固定資産				159,329,418
	建物			59,738,027
	公益目的事業会計	道修町ビル	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	11,714,596
	法人会計	道修町ビル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	48,023,431
	什器備品			71,848,781
	公益目的事業会計			70,522,128
		自動化書庫装置一式	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。	66,576,866
		道修町ﾋﾞﾙ1F展示室備品	〃	411,821
		道修町ﾋﾞﾙ4F　書架	〃	2,106,850
		奨学助成事業DVD	公益目的保有財産であり、奨学助成事業の什器備品として使用している。	22,688
		サーバー1台	〃	1,403,903
	法人会計			1,326,653
		サーバー1台、サーバーラック	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	316,741
		武田科学振興財団DVD	〃	435,875
		居室　家具	〃	378,218
		武田科学振興財団紹介コンテンツ表示用PC	〃	195,819
	ソフトウェア			27,692,610
	公益目的事業会計	研究助成システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。	17,065,255
	公益目的事業会計	自動化書庫関連システム	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業のソフトウェアとして使用している。	4,617,801
	公益目的事業会計	外国人留学助成支援システム	公益目的保有財産であり、奨学助成事業のソフトウェアとして使用している。	805,439
	法人会計	公益法人会計システム、財団Webサイト	公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。	5,204,115
	保証金			
	法人会計	セコム警備保証金	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	50,000
固定資産合計				91,022,127,318
資産合計				91,267,298,629
(流動負債)				
	未払金			7,244,787
	未払金	有限責任監査法人トーマツ	監査費用未払分	2,200,000
		常勤役員に対するもの	給与未払分	1,564,000
		職員に対するもの	給与未払分	3,480,787
	未払費用			1,650,869
	未払費用	常勤役員・職員に対するもの	給与・期末手当　福利厚生費未払分	1,650,869
	預り金			2,405,767
	預り金		住民税の預り金	269,700
			給与・期末手当等 所得税　預り金	797,793
			給与・期末手当　社会保険預り金	1,338,274
流動負債合計				11,301,423
(固定負債)				
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤理事に対する退職慰労金の支払に備えたもの	7,659,500
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払に備えたもの	9,497,000
固定負債合計				17,156,500
負債合計				28,457,923
正味財産				91,238,840,706

独立監査人の監査報告書

2024年 4月 19日

公益財団法人武田科学振興財団

理 事 会 御 中

有限責任監査法人トーマツ
大阪事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高見勝文

＜財務諸表等監査＞

監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインⅠ－5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが

含まれる。
財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。
監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任
監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。
監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。
- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

＜財産目録に対する意見＞
財産目録に対する監査意見
当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2024年3月31日現在の2023年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。
当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任
理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。
監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任
監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

監　査　報　告　書

２０２４年5月9日

公益財団法人 武田科学振興財団
　理事長　飯 澤 祐 史 殿

監　事　　小　原　正　敏　　㊞

監　事　　池　田　裕　彦　　㊞

私たち監事は、当財団の２０２３年４月１日から２０２４年３月３１日までの２０２３年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第９９条第１項（同法第１９７条において準用する第９９条第１項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第３３条第２項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上の方法によって、当該年度に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記（以下「財務諸表等」という。）及び財産目録を監査しました。

２　監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

①　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示していると認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

③　内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 財務諸表等及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上